

生活科 ことば辞典

元東京都千代田区立錦華小学校長
日本国語教育学会常任理事

栗岩英雄



生活科ことば辞典

～生活科は「生活ことば」の学びの場～

● 目次 ●

ことばを広げる「生活科」の学習……………	1
「生活科ことば辞典」の使い方……………	2
「子どもがことばを覚えるとき」……………	3
<生活科ことば辞典>	
●上巻●「なかよし」……………	4
みんな なかよし……………	4
なつと なかよし……………	11
あきと なかよし……………	16
ふゆと なかよし……………	20
●下巻●「はっけん」……………	25
春 はっけん……………	25
生きもの はっけん……………	28
わたしの 町 はっけん……………	33
はっけん くふう おもちゃ作り……………	37
自分 はっけん……………	40

ことばを広げる「生活科」の学習

○生活科は「ことばの学習」をしぜんに進める教科でもある。

生活科の学習がその扱い方の工夫によっては、「ことばの学習」に大きく貢献します。そのことは、すでに、「教師用指導書・総論」の「生活科で育てる言語力」に具体例を挙げながら詳細に説明してあるので、重複は避けます。ただ、強調しておきたいことは、生活科の学習内容に併せて子どもたちの生活経験を拡充させるだけではなく、子どもたちが今、身に付けている「ことば」に加えて生活科の学習の中で意図的に「ことば」を増やせるようにしたら、生活科の学習がこれまで以上に楽しく、指導のし甲斐のあるものになるのではないだろうかということです。

簡潔に言えば、生活科を「子どもたちのことばの世界を拡充させていく」教科として扱う側面があってもよいのではないかと、ということがこの冊子の作成意図です。もちろん、ことばの学習は「国語科学習」で意図的・計画的・段階的に言語能力向上に向けて指導されるものですが、その点についてもすでに、「教師用指導書・総論」に述べたので、ここでは重複を避けます。

○「ことばの学習」の実際例を示したのがこの冊子である。

本冊子の作成意図を明らかにすれば、教科書「新版 たのしい せいかつ」の単元に併せて、その学習経過の中で子どもたちにどのような「ことば」に触れさせて、「ことばを広げる」ことができるかを具体的に提示することを試みたのです。

例えば、第一單元「みんな なかよし」の「ともだち たくさん つくろう」においては、テーマを「ともだち」にしぼって、「ともだちのこと」「ともだちとのふれあい」「ともだちができたときの気持ち」などに関わって発せられたり使われたりするであろう「ことば」を選んで提示しました。もちろん、教室の先生方はその他のことばも必要に応じて取り上げてください。

○子どもはいつでも「ことばを広げる」ことを望んでいる。

子どもはどの学年になっても、国語科学習とは別に毎日の生活の中で何か「新しいことば」を知ることを喜ぶものです。それは国語科の勉強とは違う形で「ことばの学習」ができ、生活科の学習をしていく中で、自分の生活ことばが増えていくことが分かるからです。多少の難しいことばに触れることは特に喜びます。上級生や大人になったような優越感や成長感をもつことができるからです。そのような子どもの隠れた心理を生かして「ことばを広げる」学習ができるのも生活科なのです。

「生活科ことば辞典」の使い方

この辞典では、冊子ということから、教科書「新版 たのしい せいかつ」（上巻・なかよし 下巻・はっけん）の小単元に沿って、さらに、その中で選ぶ「ことば」にテーマをしばって扱うこととしました。

この冊子の執筆者として予め申し上げておきたいことは、次の点です。

○ ここに取り上げた「ことば」をすべて学習対象にする必要はない。

この小單元では、こういう「ことば」に触れさせるチャンスがあるのだ、と考えればよいのです。先生がそうした心構えで指導に取り組めば、その指導のプロセスで、「生活でしぜんに学べることば」への配慮が生かされます。

例えば、先生は、「あるひとつのことば」を取り上げて、「学習内容」と「ことば」を併せて覚えさせておくようにします。

また、子どもの発言から、適切な「ことば」があれば、「いい考えだね、そういう会い方をく待ち合わせ>っていうんだね。」とか、「そんな会い方は、くはち合わせ>というのよ。またひとつ新しいことばを覚えることができたわ。」などと子どもを誉めながら、「ことば」について意識させるようにします。さらに、「そういう場合は、駅前で友だちとくぱったり>会ったというんだよ。人と人の会い方もいろいろなことばで言い表せるんですね。」などと導いておくと、そうした「ことば」を自分のものにして使い出すようになるに違いありません。

○ 「ことば」を大事にする先生（指導者）の心構えを大切にしたい。

学習指導の経過を予想して、予めいくつかの「ことば」を選び出しておき、学習内容と結び付けて教えることもよい方法です。学習指導の流れを想定すると、学習事項を子どもに印象づけ記憶させるのに効果がある「ことば」や、この「ことば」を使えば子どもたちの脳裏に刻み込まれるだろうと思われるものがあるはずです。つまり、「ことば」を窓口にして学習内容が関連的にとらえられ、定着されることになるのです。

○ 小単元の「ことば」の一覧をコピーしておいて子どもたちに配付する。

「明日はここにあることばを使うような勉強をするよ。家で目を通しておいてね。」などと言って、1ページ分か、ページの一部をコピーして子どもたちに配付します。

「どんな勉強かことばから想像して明日学校へ来てね。」などとはたらきかけしておきます。子どもたちの予想の正答は求めなくてもよいのです。ことばを窓口にして、「ことばと生活科の学習内容」とが体験的に結び付けられるような頭脳の操作に馴れてくれればよいのです。こうしたことのくり返しで「ことばの獲得」が日常化していきます。

○ 経験と「ことば」が一体となって身に付くような導きをする。

上記のコピーを活用します。例えば、飼育小屋で小動物に餌を与え、食べる様子を見た後に、「今見た食べる様子をことばで表すとどうなるかな。動物のく食べる・飲む>のことばの中（本誌7ページ）からさがして選んでみようね。」と言います。このように、単元のいろいろな場面で、ちょっと「ことばさがし」をさせ、くり返していくと、学習内容とことば、体験とことばの結び付けに馴れ、ことばへの関心を深めるようになっていきます。

「子どもがことばを覚えるとき」

——どんな場合に覚えるか・その体験的八箇条——

長年、筆者が実践的に、「ことばの学習」を心掛けてきて、明らかにできたことは次のようなことです。一見誠にたいへん無いらしく思われるでしょうが、教室現場ではしばしば見落とされがちなことです。先生方の指導経験と併せて一考していただければ幸いです。

子どもは初めてのことば、難しいことばに、思いのほか興味・関心を抱き、それを使いこなせるようになることに意欲を示します。知的欲求を満足させ学習が大好きになります。

① 使い慣れているから覚えることば

当然のことですが、毎日使っていることばは身に付いています。周りの大人が子どもの発言に耳をかせば喜んで口を開いてくれます。大人の役目は「うなずきながら、よく聞いてやること」と「ことばの使い方が間違っていたら、ていねいに訂正してあげる」ことです。

② 難しいから使ってみたくなくなって覚えることば

このことばは難しいから無理だといって教えなかったら、ことばを新しく身に付ける機会を逸してしまいます。一度に初めての難しいことばを多く与えようとせず、必要に応じて一語・二語と教えれば、興味をもってそのことばを生活の中で使って慣れてくれます。

③ ぼつんとひとつ初めて出てきたから覚えることば

「みなさんが、とても積極的に勉強するようになって先生は嬉しいよ。」教師がよく使うことばです。「積極的」は難しいことばですが、子どもの脳裏に刻み込まれて獲得されていきます。

④ 難しい漢字でも頭に残るから覚えることば

教わっていない漢字のことば（熟語も含む）は難しいから覚えないうらという配慮は間違いです。多く並べられたら無理にはなるが、一語・二語……と触れれば印象に残りやすく、かえって覚えようとします。むしろ優越感を抱いて身に付けようとするものです。

⑤ これまで使ったことがないから覚えることば

「よく学び」に徹している子どもは、本当は知的欲求にうちまっています。「これまで知らなかった使ったことがなかった」ことばには、反応が早く積極的に使って覚えてくれます。

⑥ 生活の中で使ってみたくいから覚えることば

生活体験と併せてことばを身に付けば申し分ありません。生活科はそれぞれの学習内容を学ぶだけでなく、それと併せてことばを知る教科であることを強調しておきます。植物の種まきの体験は「種まき・芽生え・ふたば・茎・葉……」などのことばと結び付きます。

⑦ 新しく知って使ってみたくなくなって覚えることば

大人も同じですが、子どもも読書したり授業を受けたりして新しいことばを知ると、それを使って自己表現をしたくなります。そういう心情に触れるような「ことばの与え方」「ことばの拡充」を図ってあげることが大事な指導の工夫です。

⑧ どんなふうを使うか分かったから覚えることば

名文・名句・名言や心をひき付けられるような話に触れると、それを生かした自分の文章を書いたり発言をしたくなったりします。初めてのことばへの接近は、そのことばの使い方がわかったときから始まります。平生の先生や親の「ことばの使用のあり方」は子どもにとって重要な言語環境です。

●上巻「なかよし」 ●みんな なかよし

1 ともだち たくさん つくろう

(友達・その出会い・気持ちを表すことばを中心に)

項目	ことば	用例
●友達いっぱい	<ul style="list-style-type: none"> ・友達 ・友人 ・友 ・なかよし ・仲間 ・クラスメート ・遊び友達 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと公園であそぶ。友だちがたくさんいる。 ・友人に本をかしてもらう。 ・よい友ができてうれしい。 ・となりのせきの人となかよしになった。 ・あの子は私のサッカーなかまだ。 ・教室のかべに、クラスメートのしゃしんをはる。 ・山田さんは、ようちえんのときからのあそび友だちだ。
●会う 会い方いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・出会う ・出くわす ・ぶつかる ・行き会う ・落ち合う ・待ち合わせ ・めぐり合う ・対面 ・顔合わせ ・はち合わせ ・ぱったり 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で、すてきな友だちと出会うことができた。 ・山道でクマに出くわし、びっくりしてにげた。 ・あわててろう下の角で、友だちとぶつかる。 ・駅に行くときちゅうで、山田さんと行き会う。 ・コンビニの前で、友とおち合い学校へ行く。 ・公園の入り口でまち合わせて、友だちの家に行く。 ・とても親切な友とめぐり合うことができた。 ・上級生とたいめんするしゅう会がひらかれた。 ・野球チームの顔合わせで、川上くんに会った。 ・お店の前で、クラスメートとはち合わせした。 ・買いものをしていたら、先生にぱったり出会った。
●気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・そわそわ ・もじもじ ・うきうき ・わくわく ・どきどき ・るんるん 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめての友だちと、そわそわしながら話し合う。 ・じこしょうかいは、もじもじしないで話そう。 ・新しい友だちができて、気持ちがうきうきする。 ・わくわくしながら遠足に出かける。 ・先生にさされて、どきどきしながら答える。 ・よいお天気なので、るんるん気分であそび回る。

2 わたしの がっこう どんな ところ

(いろいろな施設、場所・その様子と関わり・関連する行動や気持ちなどを中心に)

項目	ことば	用例
●保健室1 けがのいろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・手当て ・すり傷 ・切り傷 ・かすり傷 ・ひっかき傷 ・やけど ・くじく 	<ul style="list-style-type: none"> ・すりむいたひざの手当てをしてもらう。 ・校庭でころんですりきずをつくる。 ・指の切りきずがずきずきいたむ。 ・かいだんをふみはずしたが、かすりきずですんだ。 ・ネコとあそんだら、おでこにひっかききずができた。 ・あつい湯をこぼして、やけどをしてしまった。 ・でこぼこ道でつまずいて、足首をくじく。
●保健室2 痛さもさまざま	<ul style="list-style-type: none"> ・しびれる ・ちくちく ・しくしく ・じんじん ・がんがん ・ずきずき ・きりきり ・ぴりぴり ・ひりひり 	<ul style="list-style-type: none"> ・すわりつづけて、足がしびれる。 ・ほこりが目に入り、ちくちくする。 ・かき氷の食べすぎで、おなかがしくしくいたむ。 ・つくえの角に足をぶつけて、じんじんいたい。 ・頭ががんがんするから、学校を休んだ。 ・すりきずが、ずきずきいたむ。 ・何か食べものにあって、おなかがきりきりいたい。 ・やけどをした右手の指が、ぴりぴりする。 ・ころんですりむいたきずが、ひりひりいたい。
●給食1 空腹の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・おなかがへる ・おなかがすく ・おなかと背中がくっつく ・ぺこぺこ ・ぐうぐう 	<ul style="list-style-type: none"> ・山道を歩きつづけて、おなかがへる。 ・まだ10時なのに、おなかがすく。 ・昼ごはんぬきであそんでいたら、おなかとせ中がくっつきそうになってしまった。 ・サッカーあそびがおわったら、おなかがぺこぺこだ。 ・おなかがすいて、ぐうぐうなっている。
●給食2 においがする	<ul style="list-style-type: none"> ・つんつん ・つんと ・ぷうんと ・ぶんぶん ・くんくん ・こうばしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすが、つんつんにおう。 ・すっぱいにおいが、つんとはなにつく。 ・ろう下にカレーのにおいが、ぷうんとしてきた。 ・ラーメン屋のニンニクのにおいが、ぶんぶんする。 ・けいさつ犬が、はんにんのにおいをくんくんかいている。 ・パン工場から、こうばしいパンのかおりがしてきた。
●給食3 パンの感じ	<ul style="list-style-type: none"> ・ふかふか ・ふっくら ・ふんわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふかふかのパンは食べやすいし、おいしいな。 ・みんなはふっくらしたパンが大すきだ。 ・給食のパンはいつもふんわりしている。
●給食4 食べるために	<ul style="list-style-type: none"> ・もる ・よそう ・かむ ・さす 	<ul style="list-style-type: none"> ・たきたてのごはんをおちゃわんにもる。 ・みそしるをこぼさないようによそう。 ・食べものはよくかむことが大事だ。 ・ナイフで切ったステーキをフォークでさす。

	<ul style="list-style-type: none"> ・すくう ・はさむ ・とり分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・紅茶に入れるさとうをスプーンですくう。 ・食べやすいように、パンにハムをはさむ。 ・サラダをこざらにとり分ける。
●給食5 食べる様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ばくばく ・もぐもぐ ・むしゃむしゃ ・もりもり ・ペろり ・ばくっと ・ばりばり ・ばりばり ・ばりばり ・ばりばり ・がりがり ・かりかり ・さくさく ・くちゃくちゃ ・ペろペろ ・つるつる 	<ul style="list-style-type: none"> ・おなかですいたのか、ばくばくよく食べる。 ・牛のようにもぐもぐ口をうごかして食べる。 ・赤ちゃんが手づかみでむしゃむしゃ食べている。 ・ごはんをもりもり食べて大きくなる。 ・お兄さんは山もりのごはんをペろりと食べる。 ・大きなたまごやきを一口でばくっと食べた。 ・おせんべいをばりばり食べる。 ・ポテトチップをおいしそうにばりばり食べている。 ・大きなおかしをばりばり食べる。 ・ピーナッツをばりばり食べる。 ・アイスクャンデーをがりがりとかじる。 ・ベーコンをフライパンでかりかりにやく。 ・アップルパイの外がわはさくさくしてうまい。 ・人前でくちゃくちゃガムをかむのは、行ぎがわるい。 ・キャンデーをペろペろなめる。 ・ざるそばをおいしそうにつるつる食べる。
●給食6 飲む様子	<ul style="list-style-type: none"> ・すする ・ごくん ・ごくごく ・がぶがぶ ・ぐいぐい ・ちゅうちゅう 	<ul style="list-style-type: none"> ・あついお茶をそうとすする。 ・にがい薬を水といっしょにごくんとのみこむ。 ・あつい夏の日、つめたい麦茶をごくごくのみこむ。 ・サッカーの試合をおえて、がぶがぶ水をのむ。 ・大きなコップで牛にゆうをぐいぐいと飲む。 ・ストローでちゅうちゅうジュースを飲む。
●図書室 本が多い様子	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん ・いっぱい ・積む ・山積み 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室に行って、たくさん本を読む。 ・いっぱいある図書室の図かんをつぎつぎに読む。 ・本のせい理のために、本をえらんでつむ。 ・先生のつくえには、本が山づみになっている。
●体育館 場所の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・だだっ広い ・広々 ・のびのび ・がらん ・ぴかぴか ・すべる ・ライン 	<ul style="list-style-type: none"> ・いすをかたづけたら、体育館はだだっ広くかんじる。 ・だれもない体育館は、広びろしている。 ・雨の日でも体育館で、のびのび運動できる。 ・がらんとした体育館に一人でいると、こわい気もちだ。 ・体育館のゆかは、ぴかぴかが光っている。 ・体育館のゆかは、すべるから気をつけよう。 ・体育館のゆかには、いろいろなラインが引いてある。

<p>● 音楽室 楽器の演奏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ ・オルガン ・たいこ ・楽譜 ・ひく ・吹く ・たたく ・打つ ・おさえる ・とる 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会でピアノをひく。 ・妹が、オルガンえんそうのおけいこをしている。 ・おまつりで、おはやしのたいこをたたく。 ・音楽室には、がくふ用の五線黒板がそなえられている。 ・バイオリンのゆみをひく。 ・こてきたいのパレードで、たておえをふく。 ・もっきんやカスタネットは、たたくがっきだ。 ・あいずのたいこをうつ。曲のさい後に、シンバルをうつ。 ・ギターのげんをじょうずにおさえる。 ・校内がっしょうコンクールで、六年生がしきをとる。
<p>● 動物 1 動物に触れる様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さわる ・手ざわり ・ふれる ・いじる ・なでる ・さする ・なで回す ・ひっかく ・ふんわり ・ふにゃふにゃ ・ぶよぶよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・かわいい子イヌのしっぽをさわる。 ・ウサギの毛は、とても手ざわりがよい。 ・はじめてこわごわヒツジの体にふれる。 ・子イヌをいじっていたら、指をかまれた。 ・ネコの体をなでると、気もちよさそうだった。 ・うちのネコはおなかをさすると、とてもよろこぶ。 ・イヌが大よろこびするように、体をなで回す。 ・ネコをだこうとしたら、いやがってひっかく。 ・小さなヒヨコは、ふんわりしていてかわいい。 ・ウサギをだいたら、ふにゃふにゃしていた。 ・クラゲはぶよぶよしていて、気もちわるい。
<p>● 動物 2 食べる・飲む様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かじる ・くわえる ・なめ回す ・もぐもぐ ・ぺろり ・ぱくっ ・がぶり ・ばりばり ・ぼりぼり ・ぼりぼり ・がりがり ・かりかり ・ぺろぺろ ・べろべろ ・がぶがぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハムスターが、ヒマワリのたねをかじる。 ・ネコが、キンギョをくわえてにげる。 ・うちのイヌは、おさらまできれいになめ回す。 ・ウサギが、もぐもぐ口をうごかすように草を食べる。 ・大きなイヌが、ぺろりとえさを食べてしまった。 ・イヌが、ぱくつと一口で肉を食べた。 ・ワニが、えものにがぶりとかみつくえいがをみた。 ・ウサギが、キャベツをばりばり食べている。 ・ネズミが、サツマイモをぼりぼり食べる。 ・リスが、ピーナッツをぼりぼり食べている。 ・リスが、おいしそうにドングリをがりがりかじる。 ・ハムスターが、たねをかりかりかじっている。 ・ネコが、おさらのミルクをぺろぺろなめている。 ・ネコが、べろべろ顔をなめ回す。 ・あつさの中でイヌが、がぶがぶ水をのんでいる。

3 はなや やさいを そだてよう①

(植物を世話し育てる様子、植物の成長への気付き、関心を中心に)

項目	ことば	用例
●栽培 植物の世話・ 様子	<ul style="list-style-type: none"> ・掘る ・まく ・植える ・かぶせる ・やる ・水やり ・出る ・伸びる ・開く ・生える ・抜く ・しげる ・巻きつく ・すくすく ・みるみるうちに ・どんどん ・のびのび ・たっぷり ・育つ ・大きくなる ・成長する ・生育 ・とうが立つ ・作る ・栽培 ・水栽培 ・ハウス栽培 ・園芸 ・土いじり ・庭いじり ・庭仕事 ・ガーデニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・たねまきするので、花だんの土をほる。 ・クラスみんなで、アサガオのたねをまく。 ・チューリップのきゅうこんをうえる。 ・たねまきの後は、かるく土をかぶせる。 ・うえたものが大きくそだつように、ひりょうをやる。 ・毎日こうたいで、水やりをつづける。 ・今日も、ヒマワリのめが出る。 ・ヒマワリのくきが、ぐんぐんのびる。 ・アサガオの本葉がひらく。 ・花だんに生えるざっ草をとるのは、大へんだ。 ・花だんのよけいな草をぬく。 ・ブドウの葉が、おいしげる。 ・アサガオのつるが、ささえぼうにくるくるまきつく。 ・花だんの草花が、すくすくとそだっている。 ・ミニトマトが、みるみるうちに赤くなった。 ・ヒマワリのくきが、せ高くどんだんのびる。 ・うえたなえが、元気にのびのびそだっている。 ・毎朝、アサガオにたっぷり水をかける。 ・草花が大きくそだつように世話をする。 ・トマトが、ぐんぐん大きくなる。 ・ひりょうをやると、植物はよくせいちょうする。 ・おん室のトマトは、生いくがよい。 ・しゅうかくがおくると、野さいはとうが立って食べられない。 ・今年は、夏の野さいをいろいろ作る。 ・庭でさいばいしたナスが、どんだんそだつ。 ・ペットボトルで、ヒヤシンスを水さいばいする。 ・ハウスさいばいで、夏野さいが春に食べられる。 ・おばあさんはしゅみで、園げいを楽しんでいる。 ・おじいさんは、庭での土いじりが大すきらしい。 ・家で庭いじりができるのは楽しい。 ・父は、日曜日にならず庭仕事を楽んでいる。 ・母は、ガーデニングをするのが楽しいという。

4 わたしの つうがくろ

(道のいろいろな呼び名・道の歩き方などを中心に)

項目	ことば	用例
●道のいろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・小道 ・あぜ道 ・砂利道 ・山道 ・野道 ・畑道 ・田んぼ道 ・わき道 ・回り道 ・ぬけ道 ・歩道 ・人道 ・地下道 ・通り ・大通り ・めぬき通り ・並木通り ・表通り ・裏通り ・中央通り ・道路 ・石だたみ ・沿道 ・道路沿い ・路地(ろじ) ・横町 ・つき当たり ・ふくろ小路 	<ul style="list-style-type: none"> ・自どう車の通らない小道を歩けば、あんぜんだ。 ・イナゴをおって、あぜ道を走る。 ・神社のじゃり道を歩いて、おまいりに行く。 ・くねくねした山道をのぼって、ちょう上にたどりつく。 ・なの花がさいている野道をさん歩する。 ・はたけとはたけの間ははたけ道をのんびり歩く。 ・よくみのったいなほをながめながら、田んぼ道を歩く。 ・わき道を通って行った方が、早くつくよ。 ・近道だと思って歩いたら、回り道だった。 ・ぬけ道を知っているとべりだよ。 ・歩道を走る自てん車に気をつけよう。 ・この道は人道だから、あんしんして歩ける。 ・ビルとビルが、地下道でつながっている。 ・通りをわたるときは、左右をよくたしかめてね。 ・しょう店は、大通りにめんしたところに多いな。 ・駅前道は、町のめぬき通りだ。 ・イチョウの葉が黄色く色づき、なみき通りがうつくしい。 ・夜は明るいおもて通りを歩いて帰る。 ・人通りの少ないうら通りは、一人では歩かない。 ・町の中おう通りは、人も車も多くてにぎやかだ。 ・この道ろは、朝は通学ろになっている。 ・石だたみの道を、アスファルトの道にかえる工事をする。 ・マラソンのおうえんをする人が、えん道をうめつくす。 ・道ろぞいに、新しいマンションが立ちならぶ。 ・せまいろ地をつきぬけて、大通りに出る。 ・おもて通りから細いよこ町に入ると、私の家の前だ。 ・この道をつき当たり、右にまがると大通りに出る。 ・この先はふくろ小じだから、もどることになるよ。
●歩く、その様子	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く ・歩き回る ・ねり歩く ・ぶらつく ・そぞろ歩き ・歩行 ・わたる 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日5000歩を歩いて、足を強くしている。 ・家の中をどたばた歩き回るな。 ・おまつりで、おみこしが町内をねり歩く。 ・バスをまっている間、あたりをぶらつく。 ・気もちよい天気だから、川べりをそぞろ歩きする。 ・人は道ろの右がわを歩行するきまりだ。 ・車の多い国道をわたる。歩道きょうをわたる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・おりる ・のぼる ・かける ・止まる ・進む ・さっさと ・すたすた ・すたこら ・せかせか ・たったか ・とぼとぼ ・よちよち ・よろよろ ・ぶらぶら ・のっしのっし 	<ul style="list-style-type: none"> ・山をおりる。でん車からおりる。かいだんをおりる。 ・石だんをのぼる。はしごをのぼる。木にのぼる。 ・おくれそうなので、学校までかける。 ・声をかけられて止まる。赤しんごうで止まる。 ・出口に向かってすすむ。青しんごうですすむ。 ・道草なんかしないで、さっさと歩く。 ・間に合うように、すたすた歩いて駅につく。 ・すたこら歩いてどこへ行くのかな。 ・せかせか歩いて、何をいそいでいるのだろう。 ・うれしそうな顔をして、たったか歩いて行く。 ・さびそうに、とぼとぼ歩いて行ってしまった。 ・赤ちゃんが、うれしそうによちよち歩き回る。 ・おさけをのんだよっぱらいが、よろよろ歩く。 ・町のめぬき通りを、ぶらぶらさん歩する。 ・おすもうさんが、のっしのっし歩いて行く。
<p>● 地域の場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街 ・住宅地 ・ビル街 ・団地 ・盛り場 ・空き地 ・公園 ・広場 ・境内 ・十字路 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の近くは、にぎやかなしょう店がいになっている。 ・じゅうたく地は、木々の青葉でかこまれてすずしそうだ。 ・毎朝、大ぜいのつとめ人がビルがいを歩いている。 ・だん地の空き地で、子どもがたくさんあそんでいる。 ・駅前のよこ町がさかり場で、食べものやがいっぱいだ。 ・空き地にゆうぐをそなえて、ゆう園地にするそうだ。 ・公園の花だんのチューリップが、見ごろだね。 ・子どもの多い広場では、野球はきん止されている。 ・神社やお寺のけいだいに、ゴミをちらかさないように。 ・しんごうのない十字ろは、きけんだから気をつけて歩く。

●上巻「なかよし」 ● なつと なかよし

1 はなや やさいを そだてよう②

(草花の成長の様子・花が咲き実のなる様子などを中心に)

項目	ことば	用例
●栽培 咲く・実る	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくらむ ・なる ・ならせる ・実る ・みのり ・つく ・うれる ・じゅくす ・咲く ・開く ・咲きかける ・咲き出す ・咲き始める ・五分咲き ・咲きそろう ・咲きほこる ・咲きみだれる ・咲きこぼれる ・咲きかおる ・花盛り ・満開 ・ほぐれる ・ほころびる ・はじける ・たわわに ・たくさん ・できる ・つぼむ ・新芽 ・若芽 ・苗 ・茎 ・木の実 	<ul style="list-style-type: none"> ・春が近づき、ウメのつぼみがふくらむ。 ・カキの実が、たくさんなる。 ・手入れをよくして、実を多くならせる。 ・木の実がみのる。くだもの園のくだものが、ゆたかにみのる。 ・今は、みのりの秋だ。 ・庭のサクラの木に、つぼみがいっぱいつく。 ・トマトがうれて食べごろになった。 ・実はじゅくすまでまって、とって食べよう。 ・毎朝、アサガオの花がさく。 ・ヒマワリの大きな花がひろく。 ・花だんの花がさきかける。 ・いよいよ、まっていたウメの花がさき出す。 ・公園のコスモスがさきはじめる。 ・そろそろ、川ぶちのサクラが五分さきだ。 ・山一めんにはサクラがさきそろう。 ・ポタンの花が、色あざやかにさきほこる。 ・春の公園は、いろいろな花がさきみだれる。 ・小川のほとりに、ヤマブキがさきこぼれる。 ・まどべのはちのラベンダーの花が、さきかおる。 ・今がちょうど、サクラの花ざかりだ。 ・校庭のサクラがまんかいだ。 ・つぼみがふくらんで、ほぐれるように花がさく。 ・木のえだのつぼみがいっせいにほころびる。 ・クリの実がはじける。ぶちぶちはじける食かんがよい。 ・えだにミカンが、たわわにみのっている。 ・カキがたくさんなる年は、台風が多いという。 ・アサガオのたねができる。 ・日がたって、花がどんどんつぼむのはさみしい。 ・なえからのびたくきに、しんめがそだっている。 ・わかめの色が、すき通るようにつくしい。 ・ナスやキュウりのなえを、庭のはたけにうえた。 ・くきののびるようすを、毎日かんさつする。 ・秋の山道を歩いて、いろいろな木の実をひろう。

<もの知り辞典>

*東雲草（しのめぐさ）

「アサガオ」のこと。東の空がうっすら明るくなる早朝に咲くので言われました。

*日輪草・日車草（にちりんそう）

「ヒマワリ」のこと。花の形が太陽（日輪）に似ていることから言われました。

2 おもしろい あそびが いっぱい

(遊び動作・遊びの仕方のいろいろを中心に)

項目	ことば	用例
●切る 切り方いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・切りぬく ・切り落とす ・真っ二つ ・ざっくり ・ぱっさり ・ぶつぶつ ・ぶっ切る 	<ul style="list-style-type: none"> ・点線にそって、紙を切りぬく。記事を切りぬく。 ・かれたえだを切りおとす。ふようなところは、切りおとす。 ・キャベツを真っ二つに切る。 ・大きなスイカをざっくり切る。 ・姉さんが、長すぎるかみをぱっさり切った。 ・ほうちょうで、タコの足をぶつぶつ切る。 ・魚市場で、大マグロをぶっ切るのを見た。
●つける くっつけ方	<ul style="list-style-type: none"> ・つける ・つけ加える ・くっつける ・加える ・取りつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・セロハンテープでかべに紙をつける。 ・作り方のせつ明をつけくわえる。 ・シートをボンドでくっつける。 ・じょうぶになるように、ぶひんをくわえる。 ・自てん車に新しいかぎをとりつける。
●持つ 持ち方	<ul style="list-style-type: none"> ・持つ ・手にとる ・手にする ・つかむ ・にぎる ・にぎりしめる ・つまむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・母のものをもつ。たくさんゲームをもっている。 ・よく見るために、しなものを手にとる。 ・せん手が、ゆうしょうカップを手にする。 ・うでをつかむ。やっとうんをつかむ。 ・はさみをにぎる手が、あせをかく。 ・車が多いので、弟の手をにぎりしめる。 ・あまなっとうを指先でつまむ。はなをつまむ。
●投げる 投げ方いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・投げる ・ぶつける ・たたきつける ・まく ・まきちらす ・ばらまいた ・ふる ・ふりかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・川に小石をなげる。ボールをなげる。 ・はしらにおでこをぶつける。 ・まけたくやしさを、グローブをたたきつける。 ・花だんの草花に水をまく。 ・台風が木の葉をまきちらす。 ・お店のせんでんチラシをばらまいた。 ・そこにかたまりがあるので、ピンをよくふる。 ・さい後のしあげに、しおをふりかける。
●たたく たたき方	<ul style="list-style-type: none"> ・たたく ・打ちこむ ・打ちつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・まつりのたいこをたたく。手をたたく。 ・くいをうちこむ。板にくぎをうちこむ。 ・台風にそなえて、まどに板をうちつける。
●捨てる	<ul style="list-style-type: none"> ・捨てる ・切り捨てる ・使い捨てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみはきちんとごみばこにする。 ・野さいのくさったところを切りすてる。 ・ちゅうしゃきのはりは使いすてる。

3 なつは たのしい ことが いっぱい

(夏の様子・夏の山と海の遊びのいろいろを中心に)

項目	ことば	用例
●夏 夏の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・入道雲 ・日ざし ・じりじり ・かんかん ・かんかん照り ・ぎらぎら ・ぎらつく ・むしむし 	<ul style="list-style-type: none"> ・もくもくと、入道雲がわきたっている。 ・強い日ざしがてりつける。日ざしが強い夏。 ・夏の太陽が、じりじりてりつける。 ・太陽がかんかんとてりつける。 ・夏はかんかんでりが、毎日つづく。 ・ぎらぎらと太陽の日が、てりつける。 ・ま夏の太陽が、頭の上をぎらつく。 ・むしむしする夏の夜は、なかなかねむられない。
●山 山で遊ぶ 山の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・つらなる ・山歩き ・ハイキング ・山登り ・山くだり ・谷間 ・山小屋 ・高い ・小高い ・そびえる ・そそり立つ ・切り立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠くにつらなる山々のけしきがうつくしい。 ・夏の一日、家ぞくで山歩きを楽しんだ。 ・日曜日に、父や兄とハイキングに出かけた。 ・はじめての大山の山のぼりは、大へんつかれた。 ・帰りの山くだりは、らくらく歩くことができた。 ・谷間のながれにそって歩く。 ・やっと山小屋について、ゆっくり休んだ。 ・富士山は日本で一番高い山である。 ・小高いおかにのぼると、町ぜん体が見わたせる。 ・目の前に、アルプスの山やまがそびえる。 ・大きな岩がそそり立つ。高々とそそり立つビル。 ・すい直に切り立つ岩べきをよじのぼる。
●海 海で遊ぶ 遊ぶ様子	<ul style="list-style-type: none"> ・泳ぐ ・すいすい ・ばしゃばしゃ ・水泳 ・スイミング ・水遊び ・海水浴 ・波のり ・潜水 ・砂浜 ・入り江 ・河童 ・金づち 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに、海でおよぐのが楽しみだ。 ・姉はおよぎがうまくて、すいすいおよぐ。 ・妹がばしゃばしゃとばた足でおよいでいる。 ・ぼくは水えいの中でクロールがとくいだ。 ・およぎの上たつのため、スイミングクラブに通う。 ・庭先のビニルプールで、水あそびをする。 ・夏休みには、家ぞくそろって海水よくに出かける。 ・海でなみのりをするのは、少しこわいが楽しい。 ・プールで、せん水が5メートルもできた。 ・すなはまで、すな山の高さくらべをしてあそんだ。 ・入りえでつった魚は、とてもおいしかった。 ・かっぱは水の神さまだと、むかし話で教わった。 ・金づちの人が、だんだんおよげるようになった。

<p>● 大きさ</p> <p>広さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大形 ・ だだっ広い ・ 果てしない ・ 広びろ ・ のびのび ・ ゆったり ・ 広やか ・ 洋々 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林のなかで、大がたのカブトムシをつかまえた。 ・ だだっ広いてらん会場を、ゆっくり見て回った。 ・ はてしない高原をウマが走りぬける。 ・ 大そうじをしたら、へやが広びろしたかんじになった。 ・ おんせん場のふろは、大きいのでのびのび入れる。 ・ りょかんの広いへやで、ゆったり手足をのばす。 ・ ホテルの広やかな庭園を、のんびりさん歩する。 ・ ようようと広がる海原を、きゃく船で楽しいたびをする。
------------------------	--	---

●上巻「なかよし」● あぎと なかよし

1 いきものと なかよし

(飼育のこと・生き物の世話・動物の動きなどを中心に)

項目	ことば	用例
●飼育	<ul style="list-style-type: none"> ・飼う ・子飼い ・手飼い ・飼育 ・放し飼い ・えさ ・えさ作り ・えさ探し 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の水そうで、キンギョをかう。 ・おじいさんが、スズメを子がいにしている。 ・手がいのイヌに足をかまれてしまった。 ・学校では、ウサギとヒツジをしいくしている。 ・牧場では、ウマをはなしがいにしている。 ・えさが足りなくなったので、もちよった。 ・のこりものの野さいをあつめて、えさ作りをする。 ・道路上でスズメが、えささがしをしている。
●動物の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・はばたく ・さえざる ・とまる ・ついばむ ・ほえる ・おそう ・むく ・鳴く ・いなく ・平らげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥がはばたく。ワシがはばたいてまい上がる。 ・もうすぐ春だ、ウグイスのさえざる声を耳にした。 ・小鳥が木のえだにとまる。 ・ニワトリが、小屋に入れたえさをついばむ。 ・大きなイヌがほえる。トラがほえる。 ・ネコがネズミをおそう。イヌがネコをおそう。 ・てきとむき合ったライオンが、きばをむく。 ・秋の虫が鳴く。アヒルがガアガア鳴く。 ・ウマが声高くいなく。 ・ウサギが、えさをきれいにたいらげる。

もの知り事典

生き物の数え方

ウサギ⇒一羽 いちわ

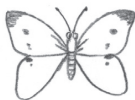
ウサギは獣だが、「羽」で数える。宗教上の理由などで肉食を禁止されていたころ、ウサギを捕っても「鳥」だと言って食べていたときの名残りである。



イヌ⇒一頭・一匹 いっとう いっぴき

大きなイヌのセントバーナードは「一頭」。小さなイヌのチワワは「一匹」。では、柴犬は？…じつは『匹と頭』の境界線ははっきりしていない。

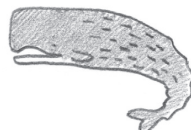
チョウ⇒一匹・一羽 いっぴき いちわ



ウシ・クジラ・ウマ⇒一匹・一頭 いっぴき いっとう



ネコ⇒一匹 いっぴき



ペンギン⇒一匹・一頭 いっぴき いっとう

*馬は人が乗ると「一騎」と数える。



2 はなや やさいを そだてよう③

(花の摘みとり・野菜の収穫・野菜の調理などを中心に)

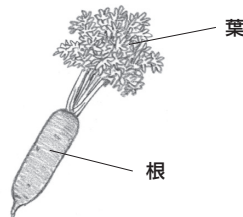
項目	ことば	用例
● 収穫 いろいろな動作	<ul style="list-style-type: none"> ・ つみ取る ・ 取り入れる ・ かり取る ・ もぎとる ・ ひろう (ひろい) ・ つむ (つみ) ・ ほる (ほり) ・ かる (かり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花ばたけで花をつみとる。いらないめをつみとる。 ・ ブドウをとり入れる。ミカンをとり入れる。 ・ 庭のざっ草をかりとる。イネをかりとる。 ・ トウモロコシをひっぱるようにもぎとる。 ・ 山へ、くりひろいに出かける。どんぐりをひろう。 ・ イチゴつみを楽しむ。食べられるめをつむ。 ・ 遠足でイモほりをする。タケノコをほる。 ・ 秋のブドウがりに行く。ライオンがシマウマをかる。
● 調理 いろいろな仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆでる ・ にる ・ 焼く ・ あげる ・ むす ・ いためる ・ つける ・ いる (いり) ・ ほす ・ おろす ・ ぐつぐつ ・ ぼたぼた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホウレンソウをゆでる。たまごをゆでる。 ・ 夕はんのおかず、野菜と魚をにる。 ・ 父の大すきなサンマをやく。牛肉をやく。 ・ 天ぷらをごちそうするため、エビをあげる。 ・ シュウマイをむす。イモをむす。 ・ チャーハンを作るので、ごはんをいためる。 ・ ハクサイをつける。キュウリをつける。 ・ ダイズを食べるためにいる。いりまめを食べる。 ・ カキの実をほしがきにしようと、のきにほす。 ・ さしみに使うワサビをおろす。 ・ アズキをぐつぐつにこんで、あんこを作る。なべの中のもの、ぐつぐつにこんでいる。 ・ ぼたぼた水がたれる。

もの知り事典

野菜のどこを食べるの

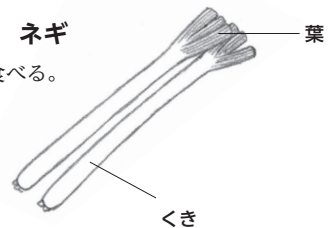
ニンジン

太った根の部分を食べる。



ネギ

くきや葉の部分を食べる。



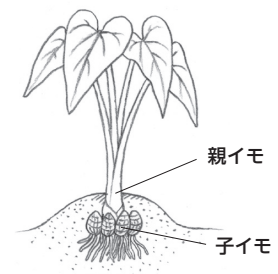
サツマイモ

根の太った部分を食べる。



サトイモ

土の中の太たくきのイモを食べる。



3 あきと ふれあおう

(秋の天候・秋の様子・秋の色や匂い・秋の美しさなどを中心に)

項目	ことば	用例
● 秋 天気の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋晴れ ・ いわし雲 ・ 秋風 ・ 秋日和 ・ 秋空 ・ すみわたる ・ 秋雨 ・ 時雨 ・ 紅葉 ・ 秋祭り ・ すずしい ・ はださむい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋晴れの一日、イモほりを楽しんだ。 ・ いわし雲が、秋のおとずれをを知らせている。 ・ さわやかな秋風が、とてもいい気もちだ。 ・ うんどう会は、すばらしい秋日よりにめぐまれた。 ・ 雲一つない、晴れた秋空の日曜日だ。 ・ すみわたる秋空が、はてしなくつづいている。 ・ 秋さめがふりつづき、少しはださむい。 ・ 今日、朝からしぐれもようである。 ・ うつくしくこうようした山に出かける。 ・ 秋まつりのおみこしがならんで、大にぎわいだ。 ・ 秋になると、朝はすずしい風が気もちよい。 ・ 秋がふかまり、朝夕はださむい風がふく。
● 感じとる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気づく ・ 思いあたる ・ ぴんと来る ・ センス ・ ひらめき ・ はっと ・ 心あたり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋のけはいに気づく。わすれものに気づく。 ・ そういえば、わたしには思いあたることがある。 ・ においをかぐと、花の名前がぴんと来る。 ・ ようふくのセンスがよいとほめられた。 ・ この絵は天才のひらめきのある作ひんである。 ・ 思わずはっとしたはっ見をしておどろいた。 ・ そのことには、いくつかの心あたりがあるよ。
● 美しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい ・ まぶしい ・ まばゆい ・ きれい ・ あざやか ・ 清らか ・ 絶景 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋のこうようのうつくしい場所をえらんで、しゃ生する。 ・ よく晴れた秋の日ざしがまぶしい。 ・ まばゆい朝の光が、教室にさしこんでくる。 ・ きれいにさいたコスモスの花をながめる。 ・ あざやかな秋の山やまの色どりをしゃしにとる。 ・ きよらかな谷川のながれに手をさし入れる。 ・ これほどの秋のぜっけいは、見たことはなかった。
● 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色づく ・ そまる ・ 色合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イチョウのなみ木が色づく。カキの実が色づく。 ・ 公園のもみじが赤くそまる。 ・ 秋の山がこうようで、あざやかな色合いである。
● におい	<ul style="list-style-type: none"> ・ におう ・ かおる ・ かぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花がかすかににおう。ユリの花がにおう。 ・ お庭の秋の花がかおる。キクの花がかおる。 ・ 花のかおりをかぐ。マツタケのにおいをかぐ。

4 つくろう あぎの おくりもの

(贈り物のやりとり・そのことばを中心に)

項目	ことば	用例
● おくりもの やりとりのことば	<ul style="list-style-type: none"> ・ おくりもの ・ プレゼント ・ ギフト ・ さしあげる ・ あげる ・ くれる ・ いただく ・ わたす ・ 分ける ・ ゆずる ・ やる ・ おくる ・ さずける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母の日、兄弟でお母さんにおくりものをする。 ・ クリスマスのプレゼントに、ゲームをいただく。 ・ 自ゆうにえらべるように、ギフトけんをおくる。 ・ 先生のたん生日に、みんなで花をさしあげる。 ・ 友だちに本をあげる。弟におかしをあげる。 ・ おじさんは、会うといつもおこづかいをくれる。 ・ わたしのたん生日に、おくりものをいただく。 ・ しなものとひきかえに、チケットをわたす。 ・ ケーキを人数分に分ける。2人にミカンを分ける。 ・ 妹に絵本をゆずる。お年よりにせきをゆずる。 ・ もう読まなくなった本を弟にやる。 ・ たん生日のおいわいに、花たばをおくる。 ・ ししょうが弟子に、けん道のじゅつをさずける。

●上巻「なかよし」 ● ふゆと なかよし

1 ふゆを みつけたよ

(冬の寒さ・寒さを感じる・天候の様子・冬のしたくなどを中心に)

項目	ことば	用例
●冬の寒さ・冬の 天気・冬のしたく	<ul style="list-style-type: none"> ・冷える ・冷え冷え ・しんしん ・がたがた ・ぶるぶる ・寒い ・うすら寒い ・身を切るよう ・寒け ・みぶるい ・底冷え ・冷えこむ ・しばれる ・かじかむ ・冷えきる ・ふるえる ・冬晴れ ・雪晴れ ・冬場 ・冬期 ・冬じたく ・冬の準備 ・冬に備える ・真冬 ・冬将軍 ・ウィンター ・冬休み ・こな雪 ・わた雪 ・ぼたん雪 ・はつ雪 ・大雪 ・みぞれ ・ふぶき ・木枯らし 	<ul style="list-style-type: none"> ・だいぶひえるので、コートをもって出かける。 ・ひえひえした冬の空気が、さむさをかんじさせる。 ・冬のさむさが、しんしんとみにしみる。 ・つめたい風のさむさで、体ががたがたふるえる。 ・さむさでほうきをもつ手が、ぶるぶるふるえる。 ・雪がふるくらいのさむい日がつづく。 ・冬が近づき、うすらさむい日がつづく。 ・みを切るようなつめたい風がふきつける。 ・ねつがあるらしくさむけがする。 ・コートなしで外に出たら、思わずみぶるいした。 ・今夜はとくにそこびえがする。 ・今朝はかなりひえこむ。体のしんまでひえこむ。 ・今夜はとくにしばれるから、あたたかくしてねよう。 ・手ぶくろをしても、さむさで手がかじかむ。 ・さむい夜道を歩いて、すっかり体がひえきる。 ・さむさがひどくて、体がぶるぶるふるえる。 ・今年の正月は、冬晴れがつづいてよかった。 ・雪晴れに、雪がきらきらとかがやく。 ・この地いきは、冬場に大へん雪が多い。 ・この学校で冬期は、スキー・スケートがさかんだ。 ・電気こたつやストーブを出して、冬じたくする。 ・公園の木々に、冬のじゅんびでわらをまきつける。 ・さむい冬にそなえて、リスの毛がふさふさになる。 ・ま冬をつめたい風がふきまくる。 ・冬しょうぐんのおとずれで、いよいよま冬になった。 ・スキー・スケートは、ウィンタースポーツである。 ・冬休みは、書きぞめのれんしゅうをした。 ・こな雪がまう。こな雪がふる。 ・ちぎったようなわた雪が、地上にまいおる。 ・今日は、めずらしくぼたん雪がふっている。 ・今年は、はつ雪がふるのがおそい。 ・この地方は、大雪がふる。 ・雨がみぞれにかわった。 ・ふぶきで先が見にくいから、うんてんに気をつけよう。 ・つめたい木がらしが、冬のおとずれを知らせる。

2 かぞくで いっしょに おしょうがつ

(正月前後の様子・正月の行事・正月を迎える人々の動きなどを中心に)

項目	ことば	用例
● 正月前後の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・大そうじ ・大みそか ・もちつき ・年越しそば ・除夜のかね ・門松 ・お供えもち ・おぞうに ・年賀状 ・賀正 ・年始 ・初詣 ・忙しい ・せわしい ・気ぜわしい ・あわただしい ・手がはなせない ・てんてこまい ・目が回る 	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月をむかえるために大そうじする。 ・12月31日は、大みそかである。 ・子ども広場で、もちつき大会がはじまった。 ・大みそかの夕はんは、みんなで年越しそばを食べる。 ・じよ夜のかねを聞きながら、元たんをむかえる。 ・入り口をかどまつでかざり、正月をむかえる。 ・もちつきで、丸く大きなおそなえもちを作る。 ・元日の朝、家ぞくそろっておぞうにをいただく。 ・今年も年がじょうがたくさんとどいてうれしい。 ・元日の朝には、「が正」と大きく書きぞめをした。 ・父といっしょに、年始のあいさつ回りをする。 ・家ぞくそろって、神社にはつもうでをする。 ・何かと年のくれはいそがしい。 ・しばらくはせわしい毎日をおくる。 ・日帰りのりょこうは、気ぜわしいかんじだ。 ・大みそかにむけて、あわただしい毎日がづく。 ・おせち料理作りでいそがしく手がはなせない。 ・朝から大そうじで、てんてこまいの一日だった。 ・目が回るようないそがしい日がつづいた。

もの知り事典 「麺」の数え方いろいろ

いちわ
一把



ひとふくろ
一袋



ひとたま
一玉



いっぱい
一杯



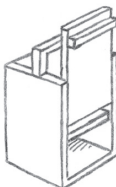
いちまい
一枚



いちにんまえ
一人前



いっしょう
一丁
(出前)

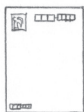


うどん、ざるそば、ラーメン、ギョウザ、カレーや親子丼は、注文するときは「一つ」や「一杯」であるが、調理場から出ると、全部「一丁」と言う。



もの知り事典 はがきの数え方

いちよう
一葉



何も書いていない。

書くと



いっしょう
一通



文章や宛先を書くと変わる。

3 みんな かせの子

(冬の天候の様子・風、雪、氷、冬の日ざしなどを中心に)

項目	ことば	用例
●風	<ul style="list-style-type: none"> ・すきま風 ・北風 ・木枯らし ・つむじ風 ・からっ風 ・さっと ・ひゅうひゅう ・びゅうびゅう ・びゅうびゅう ・吹きつける ・吹きこむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・まどにすきま風をふせぐテープをはる。 ・つめたい北風がふくと、さむさをひどくかんじる。 ・つめたい木がらしが、冬のおとずれを知らせる。 ・つむじ風がおこり、かれ葉がまい上がった。 ・今日はからっ風がふく、さむい一日だった。 ・さっと風がふいて、ぼうしがとばされてしまった。 ・つめたい風がひゅうひゅうとふく。 ・強い風がびゅうびゅうとふく。 ・北風がびゅうびゅうとふきまくる。 ・北風がふきつける中を元気に歩き通す。 ・すきま風がふきこむので、みぶるいする。
●雪・氷	<ul style="list-style-type: none"> ・こな雪 ・わた雪 ・ぼたん雪 ・初雪 ・大雪 ・ふぶき ・あられ ・氷 ・つらら ・ちらつく ・ちらちら ・ちらほら ・しんしん ・こんこん ・すべる ・かちんこちん ・こちんこちん 	<ul style="list-style-type: none"> ・こな雪がまう。こな雪がふる。 ・ちぎったようなわた雪が、地上にまいおる。 ・今日はめずらしくぼたん雪がふっている。 ・今年のはつ雪のふるのがおそい。 ・この地方は大雪がふる。 ・ふぶきで先が見にくいから、うんでんに気をつけよう。 ・雪ではなくてあられがふってきた。 ・池の水があつい氷になった。 ・家ののき下につららが下がる。 ・こな雪がちらつく中、バスが来るのをまつ。 ・夕方ごろから、雪がちらちらまいはじめた。 ・雪はまだちらほらだから、大雪にはならないよ。 ・しんしんと雪がふり、町はずかにくれていく。 ・雪がこんこんとふりつづき、出かけられない。 ・すいすいすべるアイススケートは楽しい。 ・今朝は、池の水がかちんこちんにおっている。 ・こちんこちにこおった池の氷をたたきわった。
●光る	<ul style="list-style-type: none"> ・さす ・照る ・ともす ・日ざし ・日当たり ・きらり ・ぴかぴか 	<ul style="list-style-type: none"> ・まどから、へやの中いっぱい朝の光がさす。 ・今夜は月がこうこうとてる。 ・教会で、いのりのろうそくをともす。 ・春の日ざしが、へやいっぱいさしこんであたたかい。 ・わたしのへやはとても日当たりがよい。 ・母のむねのダイヤモンドがきらりとかがやく。 ・自どう車のヘッドライトがぴかぴか光る。

4 はるを さがそう

(春をさがす、春を見る、春を感じるなどを中心に)

項目	ことば	用例
● 見る	・見る	・まどから外を見る。サクラの花を見る。
見かたのいろいろ	・目にする	・公園でよく目にする花だが、名前は知らない。
	・見かける	・にぎやかな大通りで、友だちを見かける。
	・見うける	・公園でジョギングしている人をよく見うける。
	・見当たらない	・どこをさがしても、さいふが見当たらない。
	・目に入る	・トンネルを出ると、広がる海が目に入る。
	・目にふれる	・目にふれたサッカーの本は、みんなあつめて読む。
	・見なれる	・電車から見なれたけしきをながめる。
	・目にしみる	・よく晴れた空の青さが目にしみる。
	・目につく	・あたたかくなり、半そですぐたの人が目につく。
	・目にとまる	・まっ赤なスカートの女の子が目にとまる。
	・目をはなす	・ちょっと目をはなしたら、イヌがいなくなった。
	・見のがす	・交通いはんの車を見のがすことはできない。
	・見落とす	・大事なちゅうい書きをうっかり見落とす。
	・見すごす	・赤しんごうを見すごす。ふ正を見すごすとはなにごとだ。
	・見そこなう	・楽しみにしていたテレビ番組を見そこなう。
	・見失う	・はん人をおいかけたが、大通りで見うしなう。
	・見ちがえる	・あわてて地図を見ちがえ、はんたいの方へ行く。
	・目立つ	・町のかべに、目立つポスターがはられている。
	・のぞく	・新しくできた校門前のお店の中をのぞく。
	・のぞきこむ	・古いどの中をこわごわのぞきこむ。
	・ちょっと見	・ちょっと見はこわそうだが、やさしい人だった。
	・ひと目	・おかにのぼると、町はひと目で見わたせる。
	・ちらり	・きょうぎ場で、友だちのすがたをちらりと見た。
	・ちらちら	・遠くに、町のあかりがちらちら見える。
	・きよろきよろ	・お店で、新しいおもちゃをきよろきよろ見る。
	・じっと	・あい手の顔をじっと見つめる。
	・じろっと	・電車の中で、うるさい子をじろっと見た。
	・じろじろ	・知っている人と思ってじろじろ見る。
	・まじまじ	・めずらしくそうじをする弟をまじまじと見る。
	・しげしげ	・姉とよくにている妹の顔をしげしげと見た。
	・目をやる	・まどの外に目をやると、雪がふっていた。
	・目を向ける	・庭先に目をむけると、春の花がさきほこっていた。
	・目に入る	・四つ角の大きなかんばんが目に入る。
	・あおぐ	・ホームランをうたれて、投手は思わず天をあおぐ。
	・わき目	・わき目もふらずに、しゅくだいをやりとげる。

5 もうすぐ 2年生

(1年間の振り返る・思い出・もうすぐ・招待などを中心に)

項目	ことば	用例
● 思い出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思い出 ・ 思い出す ・ 記憶 ・ 心にとどめる ・ おぼえ ・ ものおぼえ ・ 見おぼえ ・ 聞きおぼえ ・ 心おぼえ ・ うろおぼえ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは1年の入学式の思い出のしゃしんだ。 ・ 春の遠足のことを思い出す。 ・ 小さいころのことは、記おくにない。 ・ 先生にちゅういされたことを心にとどめる。 ・ あのときの楽しかったことはおぼえがある。 ・ ものおぼえがわるくなったというおぼあさん。 ・ あの人は見おぼえのある、どこで会ったかなあ。 ・ 聞きおぼえのある歌だ、いっしょに歌おう。 ・ この場所には、何か心おぼえがあるなあ。 ・ 道じゅんはうろおぼえだったが、まよわず行けた。
● もうすぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・ すぐそこ ・ 目前 ・ すぐ ・ すぐ先 ・ まもなく ・ 少しして ・ ごく近い ・ すぐ後 ・ ほどなく ・ そのうち ・ もうじき ・ 近いうちに ・ あっという間 ・ 短時間で ・ ほんの少し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ めざす山のちょう上はすぐそこだ、がんばろう。 ・ ゴール目前でころんで、ビリになってしまった。 ・ 知らせてくれれば、すぐ行くよ。 ・ 角をまがると、すぐ先に学校が見えるよ。 ・ まもなく雪がとけて春が来るよ。 ・ 食事がすんで、少ししてから出かける。 ・ まくらもとのごく近いところにめがねをおく。 ・ 朝食のすぐ後に出かける。すぐ後について行く。 ・ この8かいだてのビルは、ほどなくできあがる。 ・ 雲行きがあやしい、そのうち雨になるだろう。 ・ もうじき春になる。もうじき子ども会がはじまる。 ・ てん校してわかれた友だちと近いうちに会う。 ・ 事故はあっという間のできごとであった。 ・ 話し合いは、たん時間ですまして仕事をはじめた。 ・ はこ作りの工作は、ほんの少しでおわるよ。
● 招く・誘う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 招待 ・ 招く ・ 呼ぶ ・ 声をかける ・ 誘い出す ・ うながす ・ 集める ・ 誘い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちのたん生会にしょうたいされた。 ・ 音楽会にゆう名なピアニストをまねく。 ・ 食事会をひらいて、友人を家によぶ。 ・ サッカーをしないかと友だちに声をかける。 ・ えん日に行かないかと弟をさそい出す。 ・ チラシをくばって、活どうへのさんかをうながす。 ・ チームをつくろうと、きぼうしゃをあつめる。 ・ さそいによって、チームに入ってよかった。

●下巻「はっけん」 ● 春 はっけん

1 2年生に なったよ

(春の感じ・サクラの花、春の様子、行事、春の色などを中心に)

項目	ことば	用例
●春を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・来る ・なる ・浮かぶ ・吹く ・とける ・咲く ・ちる ・まう ・当たる ・そよそよ ・さわさわ ・ほかほか ・ぼかぼか ・さわやか 	<ul style="list-style-type: none"> ・やがて春が来る。春が来るのがまち遠しい。 ・春になる。しだいにあたたかくなる。 ・青空にぽっかりと白い雲が浮かぶ。 ・あたたかな春風がふく。きゅうに強い風がふく。 ・あたたかくなって、池の氷がとける。道の雪がとける。 ・チューリップの花がいつせいにさく。 ・サクラの花が風にまっけてちる。ウメの花がちる。 ・チョウがまう。大空のカモメがまう。 ・春の日が当たる。日が当たるところから雪がとける。 ・春風がそよそよとふく。木の葉がそよそよする。 ・風がふくとさわさわと木の葉がさわぐ。 ・春の日ざしをあびて、体がほかほかしてきた。 ・ぼかぼかした春のよう気。体がぼかぼかしてきた。 ・気もちのよいさわやかな一日。さわやかな風。
●サクラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ソメイヨシノ ・ヤマザクラ ・ヒガンザクラ ・オオシマザクラ ・花見 ・桜前線 ・花より団子 ・春祭り ・花祭り ・彼岸 ・春分 ・立春 ・立夏 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本でとくに多いサクラのしゅるいはソメイヨシノだ。 ・葉と花がいっしょに出だすのはヤマザクラだ。 ・べに色のヒガンザクラの花がうつくしくさく。 ・オオシマザクラの葉をしおづけにして、さくらもちを作る。 ・公園で、家ぞくそろってサクラの花見を楽しむ。 ・さくら前線が南からやってくる、もうすぐサクラの開花。 ・食いしんぼうの弟は、まさに花よりだんごだ。 ・サクラはまんかい、町の春まつりは大にぎわいである。 ・花まつりはおしゃかさまのたん生日をいわう日である。 ・おひがんでおはかまいりをする。あつささむさもひがんまで。 ・春分は昼と夜の長さが同じになる日である。 ・立春は春のはじまる日、やっと冬がおわった。 ・立夏は夏のはじまる日、木の葉がしげりはじめる。
●色	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら色 ・やまぶき色 ・うぐいす色 ・もえぎ色 ・わかたけ色 ・むらさき色 	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラの花びらのようなさくら色のきものをきる。 ・ヤマブキの花のようなやまぶき色の黄色の車体。 ・ウグイスのはねの色のよううぐいす色のもちがし。 ・新しく生えたネギの葉のようなもえぎ色。 ・わかい竹のみきのようなみどり色のわかたけ色。 ・スミレの花のようなむらさき色のふくをきる。

2 花や やさいを そだてよう④

(植物の世話は本誌p.8参照。ここでは調理のことばを中心に)

項目	ことば	用例
●調理のしかた いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・洗う ・切る ・むく ・ちぎる ・きざむ ・おろす ・わかす ・ゆでる ・ふかす ・むす ・あげる ・あえる ・まぶす ・とぐ ・たく ・たける ・みる 	<ul style="list-style-type: none"> ・野さいをあらう。食事の後、食きをあらう。 ・キュウリを切る。食べやすいように肉を切る。 ・カレーに入れるジャガイモのかをむく。 ・レタスの葉をちぎる。 ・そばのやくみにネギを細かくきざむ。 ・ダイコンをすりおろす。ワサビをおろす。 ・カップラーメンを食べるため、お湯をわかす。 ・タマゴをゆでる。うどんをゆでる。 ・サツマイモをふかす。もち米をふかす。 ・昼食用にシュウマイと肉まんをむす。 ・とんかつをあげる。天ぷらにエビをあげる。 ・マカロニをマヨネーズであえる。 ・とり肉に小麦こをまぶす。 ・水で米をとぐ。米をといでたく。 ・キャンプ場ではん合で米をたく。 ・おいしそうにごはんがたける。 ・にえたかどうか、なべのふたをとってあじをみる。

もの知り事典 野菜の数え方いろいろ

いっこ
一個

特別な数え方のないもの。



ひとつば
一束

ひもなどで束にしたもの。



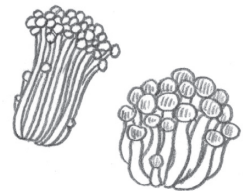
いちわ
一把

片手でにぎれるほどに束ねたもの。



ひとつかぶ
一株

植物の地上に出ている下の部分をさし、しめじ・えのきだけなどを数えるときに使う。



ひと
一さや



いっぽん
一本



ひとつぶさ
一房



ひとつたま
一玉



ひとつぶ
一粒



3 春の 町で はっけん

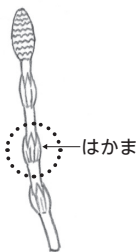
(町を歩く・歩く様子のいろいろ・発見のしかたなどを中心に)

項目	ことば	用例
● 町 その動き いろいろな歩き方	<ul style="list-style-type: none"> ・のろのろ ・ぶらぶら ・そろそろ ・ゆっくり ・よろよろ ・すたすた ・とことこ ・ちょこちょこ ・とぼとぼ ・のしのし ・うろうろ ・えっちらおっちら ・てきぱき ・きびきび 	<ul style="list-style-type: none"> ・道ろがつまって車がのろのろすすむ。 ・時間によゆうがあるので、駅までぶらぶら歩く。 ・おじいさんがそろそろ歩いている。 ・自てん車は、人の多い道をゆっくり走っている。 ・赤ちゃんがよろよろ立ち上がり、よろよろ歩く。 ・わかい人がいそがしそうにすたすた歩く。 ・弟がわたしのへやにとことこ入ってきた。 ・しばふの上を赤ちゃんが、ちょこちょこ歩き回る。 ・元気なく、とぼとぼ歩いて帰る。 ・大きな人がのしのしといばって歩いている。 ・入り口がわからなくて、うろうろしてしまった。 ・大きなにもつをかついで、えっちらおっちら歩く。 ・てきぱきと仕事をかたづける、わかい店いんさん。 ・きびきびしたようすではたらく店の人たち。
● 発見 発見のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ・発見 ・見つける ・探り当てる ・探り出す ・見いだす ・見つけ出す ・かぎ出す ・探し当てる ・探し出す ・見かける 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年もまた、新しい星をはっ見した少年がいる。 ・四つ葉のクローバーを見つける。めを見つめる。 ・くらいへやで、かべのスイッチをさぐり当てる。 ・ぬけ道をさぐり出す。かばんからかぎをさぐり出す。 ・友だちのよいところを見だしてつき合う。 ・においをかいで、さがしものを見つけ出す。 ・けいさつ犬がはん人のい場しょをかぎ出す。 ・友だちの家をやっとさがし当てる。 ・図書館でお目あての本をやっとさがし出す。 ・あの人は学校の行き帰りでよく見かける。

もの知り事典

はかまのいろいろ

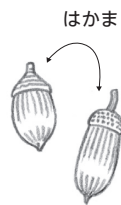
ツクシ



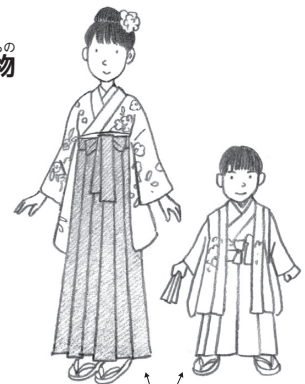
アスパラガス



ドングリ



きもの
着物



はかま

●下巻「はっけん」 ● 生きもの はっけん

1 生きて いるって すごい!

(川や草原、つり、持つ、育つなどに関わることばを中心に)

項目	ことば	用例
●川	<ul style="list-style-type: none"> ・小川 ・河川 ・大河 ・谷川 ・激流 ・せせらぎ ・浅瀬 	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな小川でめだかをすくう。小川のせせらぎ。 ・大水にそなえ、かせんの大工事がはじまる。 ・ゆうゆうたる大がのながれのをぞむ。 ・山のぼりのとちゅう、つめたい谷川の水をのむ。 ・うまいさおさばきで、げきりゅうをいかだが下って行く。 ・谷川のせせらぎを聞きながら、山のぼりをつづける。 ・あさをわたって、むこう岸に行く。
●草原	<ul style="list-style-type: none"> ・草原 ・野原 ・原っぱ ・緑地 ・野外 ・芝生 	<ul style="list-style-type: none"> ・草原で虫をおいかける。草原でねころぶ。 ・野原をかけ回ってあそぶ。野原で花をつむ。 ・原っぱでたこあげをする。原っぱで野球をする。 ・町のりよく地を大切にまもる。りよく地はよいこいの場だ。 ・野外の音楽会に行く。今日は野外学習をする日だ。 ・しばふにこしをおろして、ゆっくり休む。
●つり	<ul style="list-style-type: none"> ・つり ・つる ・たらす ・引く ・つれる ・かかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・岸ぺきでハゼつりを楽しむ。キンギョつりをする。 ・一本づりで、大きなマグロをつる。アユをつる。 ・つり糸をたらし、魚のかかるのをじっとまつ。 ・かかった魚が糸を引く。 ・こんなに大きな魚がつれるとは、おどろいた。 ・うきがうごいた、魚がかかったぞ、にがすな。
●持つ 手の動作	<ul style="list-style-type: none"> ・つかまえる ・つかむ ・つまむ ・はさむ ・放す ・手放す ・ぎゅっと ・手づかみ ・わしづかみ ・にぎる ・にぎりしめる ・取る ・はじく ・かく 	<ul style="list-style-type: none"> ・野原でバッタをつかまえる。カエルをつかまえる。 ・おぼれるものはわらをもつかむ。チャンスをつかむ。 ・びくびくしながら毛虫をつまむ。すしをつまむ。 ・はしでまめをはさむ。パンにハムをはさむ。 ・赤ちゃんを一人歩きさせようと手をはなす。 ・ひもを手ばなし、イヌを自ゆうにあそばせる。 ・手をぎゅっとにぎる。ぎゅっとぞうきんをしぼる。 ・おにぎりを手づかみで食べる。 ・おかしをわしづかみにする子どもたち。 ・赤ちゃんの手をにぎる。 ・お金をおとさないようににぎりしめる。 ・しょくじするのではしをとる。ペンをとって書く。 ・人さし指でおはじきをはじく。 ・かゆいところをかく。しっばいして頭をかく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ひっかく ・もむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・けんかして、あい手の顔をひっかく。 ・父のかたをもむ。きりをもんであなをあける。
● 育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・成長 ・巣立つ ・飼う ・飼いならす ・飼育 ・はなし飼い 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な子どもたちが日に日にせい長する。 ・ツバメのひながす立つ日もま近だ。 ・教室でザリガニやカメをかう。 ・めいわくにならないように、イヌをかいならす。 ・しいく係がしいく小屋をきれいにそうじする。 ・イヌのはなしがいは、近じよにめいわくをかける。

2 花や やさいを そだてよう⑤

(育てた物の味、感じのいろいろのことばを中心に)

項目	ことば	用例
● 食べる 味のいろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甘い ・ 甘ずっぱい ・ すっぱい ・ からい ・ しおからい ・ しょっぱい ・ しぶい ・ 苦い ・ ほろ苦い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イチゴをつかって、あまいジャムを作った。 ・ あまずっぱいリングは、おいしいね。 ・ 母が作ったうめぼしは、とてもすっぱい。 ・ 父は、からいからし、からいわさびが大すきだ。 ・ しおからいつけもの。しおからいみそする。 ・ しおをかけすぎて、しょっぱいゆでたまご。 ・ おじいさんは毎朝、しぶいお茶をのむ。 ・ 病気になって、にがいくすりをのんだ。 ・ 父はほろにがいあじのビールがおこのみだ。
● 食感	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぴりっと ・ ひりひり ・ ぴりぴり ・ ほくほく ・ もちもち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぴりっとからいわさびがきいて、さしみがうまい。 ・ カレーがからくて、のどがひりひりする。 ・ からいものを食べたので、したがぴりぴりする。 ・ ほくほくしたサツマイモをおいしくいただく。 ・ おしるこの白玉が、もちもちしていておいしい。

もの知り事典 花 数え方いろいろ

ひとつぶ
一粒

タネは一粒。



いっほん
一本

野原などに咲く花を数える。



いちりん
一輪

開いた花を数える。



ひとえだ
一枝

枝を数える。



ひとつば
一束

花束を数える。



ひとかぶ
一株

根のついた花を数える。



ひとつち
一鉢

鉢に咲いた花を数える。



いっぺん
一片

花びらを数える。



3 はっけん かんどう 夏休み

(雨をめぐるいろいろなことば、乗り物への乗り降りのことばなどを中心に)

項目	ことば	用例
●雨	<ul style="list-style-type: none"> ・かげる ・さす ・ふる ・あがる ・ふりやむ ・ふり出す ・ふりはじめる ・雨水 ・ひと雨 ・大ぶり ・本ぶり ・土砂ぶり ・小雨 ・大雨 ・雷雨 ・にわか雨 ・夕立 ・ぱらつく ・ぼつぼつ ・ぼつりぼつり ・ばらばら ・しとしと ・しょぼしょぼ ・ばらばら ・ざっと ・ざあざあ ・出る ・かかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後から日がかげる。ときおり日がかげる。 ・日がさして来た。夏のあつい日ざしがさす。 ・朝から雨がふる。明日は雨がふるらしい。 ・やっと雨があがる。雨があがると空ににじが出た。 ・長雨がやっとふりやむ。雨のふりやむのをまつ。 ・とうとう雨がふり出した。やっぱり雨がふり出す。 ・雨がふりはじめたのは、夜おそくだった。 ・道に雨水がたまって歩きにくい。雨水がたまる。 ・夜にはひと雨来そうだ。とうとう午後からひと雨来た。 ・台風が近づいて、いよいよ大ぶりになってきた。 ・夕方になって、とうとう本ぶりになった。 ・かさなしでどしゃぶりの中を、びしょぬれになって歩いた。 ・こさめなので、かさをささずに走って帰る。 ・大雨で川がぞう水する。台風で大雨ちゅういほうが出される。 ・ひどいらい雨で、電車がストップした。おそろしいらい雨だ。 ・午後はどこにより、にわか雨になるらしい。 ・夕だちで、少しすずしくなってきた。 ・こさめがぱらつく中を出かけた。ぱらつくこさめはあがるよ。 ・さん歩していたら、雨がぼつぼつふり出した。 ・遠足に出べつしたが、雨がぼつりぼつりふってきた。 ・空がくもってきたら、雨がばらばらふってきた。 ・さみだれがしとしとふりつづく。しとしととふる雨。 ・しょぼしょぼふる雨はいやだなあ。しょぼしょぼとふる雨。 ・大つぶの雨が、きゅうにばらばらとふってきた。 ・ざっと雨がふって、さっとあがった。ざっとふる夕だち。 ・雨がざあざあふってきた。ざあざあと大ぶりの雨だ。 ・雨上がりの空ににじが出る。もくもくと雨雲が出る。 ・空にきれいな七色のにじがかかる。
●乗り物	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐ ・通る ・通す ・入る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自てん車をこぐ。ボートをこぐ。プランコをこぐ。 ・電車がふみ切りを通る。駅のかいさつを通る。 ・あい手の車を先に通す。自どうかいさつに切ぶを通す。 ・列車がホームに入る。こんだ車内に入る。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・出る ・乗る ・おりる ・乗りこむ ・ゆずる ・すわる ・立つ | <ul style="list-style-type: none"> ・電車がホームを出て行く。切ぶを入れて、かいさつを出る。 ・バスにのる。タクシーにのる。新かん線にのる。 ・車からおりる。電車からおりる。じゅんじょよくおりる。 ・かんこうバスにのりこむ。じゅん番にバスにのりこむ。 ・電車でお年よりにせきをゆずる。行れつで先をゆずる。 ・きちんとせきにすわる。足のわるい人にすわってもらう。 ・せきを立つ。せきを立って、せきをゆずる。 |
|--|--|

もの知り事典 海の中の生き物 数え方いろいろ

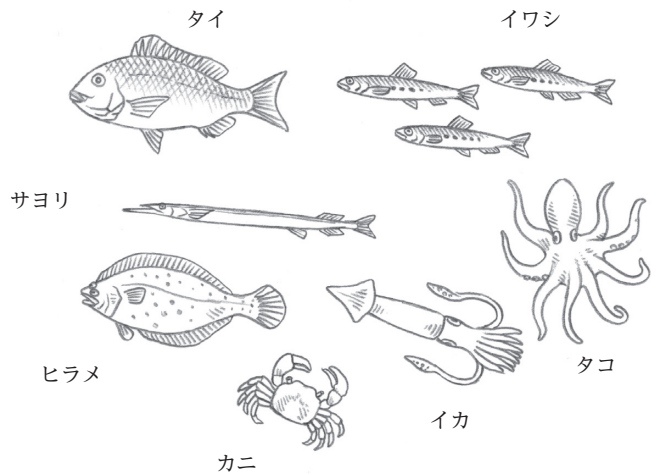
いっぴき
一匹 泳いでいるとき。

ひとすじ いちじょう
一筋・一条 サヨリなどの細長い魚を数える。

いちまい
一枚 ヒラメなど薄い魚を数える。

いっばい
一杯 イカ・タコ・カニを数える。

昔、貝と同類とされていたために、貝と同じ数え方「いちばい」から「いっばい」になった。また、イカ・タコにお酒を入れて持ち歩き、飲んだことから「いっばい」になったという諸説がある。



もの知り事典 海の中の生き物 お店にならぶと

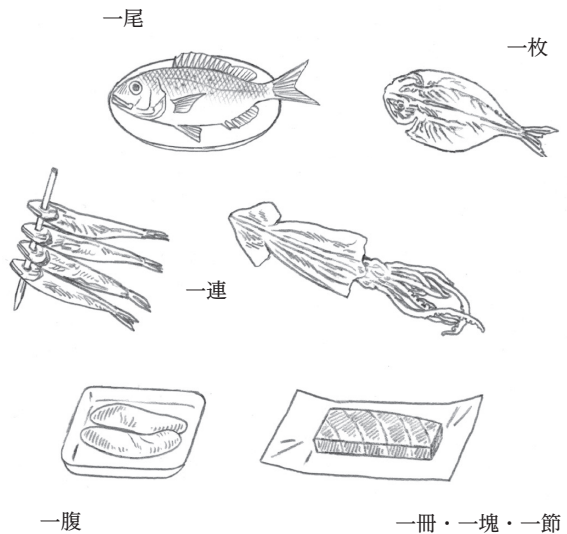
いちび
一尾 尾ひれがついていれば、すべて「一尾・二尾…」と数える。

いちまい
一枚 アジなどの開き(干物)を数える。

いちれん
一連 メザシ・スルメを数える。

ひとはら
一腹 タラコを数える。

ひとさく いっかい ひとふし
一冊・一塊・一節
マグロ・カツオは中骨で二つに分けた一方を「片身」といい、それを背と腹に分けたものを「一節」という。



●下巻「はっけん」 ● わたしの 町 はっけん

1 町には はっけんが いっぱい

(聞く・話す・たずねる・そして町の発見などへを中心に)

項目	ことば	用例
● 聞く 聞き方いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く ・ 耳をかたむける ・ 耳に入る ・ 聞きとる ・ 聞き分ける ・ 聞きつける ・ 聞きもらす ・ 聞き直す ・ 聞き落とす ・ 聞き間違え ・ 聞きそこなう ・ 聞きにくい ・ 聞きのがす ・ 聞き上手 ・ 聞き下手 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町の人に道を聞く。もの音を聞く。うわさを聞く。 ・ 町の人のおつ明に耳をかたむける。 ・ 歌声が耳に入る。母が弟をしかる声が耳に入る。 ・ 先生の話をおしく聞きとる。聞きとり方がうまい。 ・ 虫の鳴き声を聞き分ける。足音を聞き分ける。 ・ 弟の声を聞きつけて、イヌのシロがとんできた。 ・ おしゃべりしていて、大事なことを聞きもらす。 ・ 友だちの話を聞き直す。もういちど話を聞き直す。 ・ ぼんやりしていて、先生の大事な話を聞きおとす。 ・ 先生の話をお聞き間ちがえてしっぱいした。 ・ 大事な話を聞きそこなうと、大しっぱいするよ。 ・ マイクのぐ合いがわるく、お話が聞きにくい。 ・ 大事なちゅういを聞きのがすと、仕事を間ちがえるよ。 ・ 聞きじょうずな人は、何でもよくわかってくれる。 ・ 聞きべたでは、グループ学習がうまくすすまない。
● 話す 話し方、言い方	<ul style="list-style-type: none"> ・ しゃべる ・ 話す ・ 語る ・ 声をかける ・ ささやく ・ つぶやく ・ おしゃべり ・ 話しかける ・ 話しこむ ・ 話にならない ・ 話にお身を入れる ・ 話しぶり ・ 言う ・ 言いあやまる ・ 言い表す ・ 言い落とす ・ 言いかえる ・ 言いかわす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大声でしゃべると、はためいわた。 ・ 母が子どものころの思い出をお話す。しづかに話す。 ・ 夏休みのできごとをお語る。物語の内ようをお語る。 ・ 友だちに声をかける。となりの人に声をかける。 ・ 妹が母の耳もとでささやく。 ・ ぼつりとつぶやく。ぶつぶつもんくをおつぶやく。 ・ 電話で友だちと長ながとおしゃべりする。 ・ となりのせきの人に話しかける。 ・ 母がお店の人と話しこむ。 ・ そんなやり方では話にならない、考え直そうよ。 ・ よく聞いてもらえるように、話におみを入れる。 ・ 明るい話しぶり。聞き手をわらわせる話しぶり。 ・ だれにでもわかるように言う。 ・ いそいだので、大事なことを言いあやまる。 ・ 聞き手によくわかるように言いあらわす。 ・ 先をいそいで、大事なことを言いおとす。 ・ 小さい子にもわかるように、やさしく言いかえる。 ・ わかれぎわにやくそくごとをお言いかわす。

	<ul style="list-style-type: none"> ・言い足す ・言い通す ・言い直す ・言いのこす ・言いふらす ・言いふくめる ・言いもらす ・言い分 	<ul style="list-style-type: none"> ・話がよくわかるように、くわしく言い足す。 ・みんなにわかってもらえるように言い通す。 ・間ちがいを言い直す。わかりやすく言い直す。 ・時間がのびてしまい、話のさい後を言いのこす。 ・人のわる口などを言いふらすのはやめろ。 ・弟におつかいの行き先をしっかりと言いふくめる。 ・いそぎすぎて、大切なことを言いもらす。 ・きみにも言い分があるだろう、かくさず言えよ。
● 質問 たずね方	<ul style="list-style-type: none"> ・質問する ・問う ・うかがう ・尋ねる ・問い合わせる ・聞き返す ・聞き取る ・問いかける ・問いただす 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループはっぴょうの後にしつもんする。 ・みんなの考えをじゅん番にとう。 ・校長先生の話をつかがう。じむしょにうかがいます。 ・道じゅんをたずねる。ふ明なことをたずねる。 ・子ども会のはじまる時間をとい合わせる。 ・電話の音が聞きにくかったから聞きかえず。 ・先生のちゅういをしっかりと聞きとる。 ・外国人に英語でといかける。つぎつぎと、といかける。 ・わからない点をのこさぬように問いただす。

もの知り事典

店の名

小間物屋（こまものや）

今のコスメティックショップ。江戸時代はかんざしや櫛（くし）を置いていた。今日では洋裁の小物やバック・お化粧品なども扱っている店。

荒物屋（あらものや）

小間物屋にあるものより大きい物で、家庭用の雑貨や箒（ほうき）類、鍋などの台所用品を主に扱っている店。

乾物屋（かんぶつや）

豆・海苔・椎茸（しいたけ）・干瓢（かんぴょう）などの乾物を扱っている店。今はどんどん商品をふやして食料品店になっている店が多い。

鑄掛屋（いかげや）

鍋や釜（かま）などを修理してくれる職人さんのことで、町を流して商売をしていた。

2 みんなの はっけんを あつめよう

(町へ行く・訪ねる・いろいろな所を通るなどのことばを中心に)

項目	ことば	用例
● 行く 行く様子いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・行く ・向かう ・出向く ・足が向く ・足をのばす ・つれる ・一緒 ・同行 ・引率 ・行きつけ ・行き帰り ・行き方 ・行き過ぎる ・行きちがう ・行きつく ・行き止まり ・行き道 	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびに行く。遠くへ行く。道を行く人たち。 ・駅へむかうおつとめ人。外国へむかうジェットキ。 ・こちらから出むく。いつでも出むいて行きますよ。 ・サクラの花を見に、やっぱり公園に足がむく。 ・買いもののあと、父をむかえに駅まで足をのばす。 ・イヌをつれてさん歩する。妹とつれだつて歩く。 ・わたしがごいっしょします。兄といっしょに歩く。 ・母の買いものに同行する。父と同行して、と山する。 ・先生に引そつされて遠足に行く。引そつしゃは先生。 ・行きつけのレストランで夕食をとる。 ・学校への行き帰りには、車に気をつけて歩こう。 ・人にやくしょまでの行き方を、ていねいに教える。 ・電車にのつてうっかりして、駅を行きすぎる。 ・おうだん歩道で友だちと行きちがう。 ・やつと山小屋に行きつく。駅に行きつく。 ・この先は行き止まりだ。行き止まりの道らしい。 ・行き道とちがう道を歩いて帰ろう。
● 訪ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・訪ねる ・訪れる ・立ち寄る ・足を運ぶ ・訪問する ・おじゃまする 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの家をたずねる。しんせきの家をたずねる。 ・先生のおたくをおとずれる。春がやつとおとずれる。 ・帰りに本屋に立ちよる。友だちの家立ちよる。 ・しらべることがあつて、図書館に何回も足をはこぶ。 ・あい手のつ合を聞いてからほうもんする。 ・三時におじゃまする。明日おじゃまします。
● 通る 通り方さまざま	<ul style="list-style-type: none"> ・通る ・通り道 ・過ぎる ・通り過ぎる ・通りこす ・通りぬける ・通り ・通りかかる ・通りがかり ・通りすがり ・す通り 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなイヌの前をこわごわ通る。 ・学校へ行く通り道。台風の通り道にあたる。 ・橋をすぎると、すぐぼくの家の前になる。 ・お店を通りすぎてしまつて後もどりする。 ・いねむりしていて、おりの駅を通りこす。 ・長いトンネルを通りぬける。庭を通りぬける。 ・風の通りのよい道だ。おとのさまのお通りだ。 ・知り合いのタクシーが通りかかる。 ・通りがかりの人にせんでんのチラシをくばる。 ・通りすがりの本屋をのぞく。通りすがりの人びと。 ・うっかり店の前をす通りする。家の前をす通り。

3 町の 人に つたえたい

(伝え方のいろいろ、自分の町を自慢するなどのことばを中心に)

項目	ことば	用例
● 伝える 伝え方いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える ・口伝え ・伝言 ・伝達 ・広告 ・チラシ ・ふれ歩く ・宣伝 ・告げる ・告知 ・人づて ・知らせる ・アナウンス ・言い広める ・広める ・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙で学校のようにすをつたえる。ニュースをつたえる。 ・口づたえされているみんな話をあつめる。口づたえの歌。 ・友だちにでん言をたのむ。でん言ばんを見てわかった。 ・遠足について、ちゅういすることをでんたつする。 ・新しいしなものをテレビで、さかんに広くくしている。 ・新聞にやす売りのチラシが入っていた。 ・町でおこなうひなんくんれんの日時をふれ歩く。 ・新しい店を知らせるせんでんカーが走り回る。 ・大時計が正午をつげる。春をつげるウグイス。 ・休ぎょう日のお知らせをこく知する。きけんをこく知する。 ・友だちの病名を人づてに聞いて知る。 ・電話であんぜん・ぶじを知らせる。よいことを知らせる。 ・アナウンスでまい子の知らせを聞く。 ・ぼくたちの学校のすぐれたけんきゅうを言い広める。 ・新しいくすりを広める。よいおこないを広める。 ・グループでしらべたことをはっぴょうする。けんきゅうはっぴょう。
● 自慢 自慢の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・自慢 ・店自慢 ・うで自慢 ・のど自慢 ・自慢のたね ・自慢気 ・得意 ・得意気 ・得意満面 ・鼻高々 ・満足する ・誇らしい ・誇り ・プライド ・気分がよい ・すばらしい ・上出来 ・レベルが高い ・好調 ・鼻が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・足のはやいことを自まんする。自まん話を聞く。 ・店自まんのピザはとてもうまい。店自まんのしなもの。 ・うで自まんのりょう理人。うで自まんの大工さん。 ・町内ののど自まん大会に出て、ほうびをいただく。 ・高校で投手だったことが、父の自まんのたねだ。 ・自まんげな顔つきで話す。自まんげなたいど。 ・100点とってとくい顔。とくいなべん強は国語だ。 ・弟がとくいげに自まんする。とくいげな顔。 ・水えいのコーチにほめられて、とくいまんめんだ。 ・兄は合かくして、はな高だか。ほめられて、はな高だかだ。 ・仕事のできにまん足。絵のしあがりにまん足だ。 ・試合に勝ってほこらしい気分になる。 ・この学校のじどうであることをほこりに思う。 ・プライドをもって、仕事にとりかかる。 ・朝からほめられて、気分がよい。気分がよい一日。 ・学校のこてき隊が、すばらしい行しんをした。 ・ここまでできれば上できだよ。上できな作品。 ・三ぱんのけんきゅうはっぴょうは、とてもレベルが高い内ようだ。 ・新しょうひんのパンの売れ行きは、こうちょうだ。こうちょうな出だし。 ・弟のすてきな絵をほめられ、わたしもはなが高い。

●下巻「はっけん」 ● はっけん くふう おもちゃ作り

1 おもちゃを 作って みよう

(おもちゃ作りの道具・文具・作り方のことばなどを中心に)

項目	ことば	用例
●文具 工作に使ういろいろな道具	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・鉛筆 ・絵の具 ・絵ふで ・ものさし ・定規 ・はさみ ・マジックペン ・セロハンテープ ・色紙 ・のり ・ナイフ ・小刀 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひっ記用ぐをわすれずに見学に行く。 ・毎朝、えんぴつをきちんとけずって学校へ行く。 ・はじめて絵のぐをつかって絵をかく。絵のぐばこ。 ・つかった後は、絵ふでをきちんとあらっておこう。 ・本のたて、よこの長さをものさしではかる。 ・三角じょうぎをつかって、工作のための下図をかく。 ・はさみで紙を切る。ひもをはさみで切る。 ・マジックペンをうまくつけて、ポスターを作る。 ・セロハンテープで、2まいの色紙をはりつける。 ・色紙でおりづるをたくさん作ってかざる。 ・6つに切った画用紙を、のりでつけてはこを作る。 ・ナイフをうまくつけて、えんぴつをけずる。 ・ボール紙を線に合わせて、こがたなできれいに切りはなす。

もの知り事典

いろいろなはさみ

植木などを刈る時に使う。

花ばさみ

花を切る時に使う。

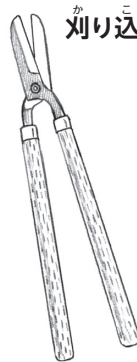


にぎりばさみ

糸を切る時に使う。



刈り込みばさみ



せん定ばさみ



キッチンばさみ

食べ物の材料などや袋などを切る時に使う。



もの知り事典

穴をあける道具

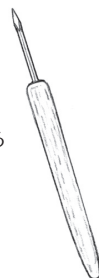
せんまいとお
千枚通し

目打ちとも言われる。重ねた紙を刺し通して穴をあける。



きり

小さな穴をあけるための道具。



くじり (ぐじり)

千枚通しより根元が太い。職人は「きり」より使いやすいそうだ。



2 おもちゃの ひみつ はっけん！

(驚く・考える・簡単・失敗など発見にまつわることばを中心に)

項目	ことば	用例
● 驚く 驚く様子いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・驚く ・たまげる ・とび上がる ・あきれる ・目が点になる ・目玉がとび出る ・目を丸くする ・びっくり ・どっきり ・はっと ・きょとん ・あつと言わせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・おどろくほどのはやさで歩く。頭のよさにおどろく。 ・ねだんの高さにたまげる。だれもがたまげるお話。 ・カレーのからさにとび上がる。 ・ごみの多さにあきれる。あきれてものが言えない。 ・店先のねふだを見て、目が点になる。 ・ほしいものがあつたが、目玉がとび出るほど高い。 ・大きなねずみを見て、目を丸くする。 ・四つ角で友だちときゅうに出会ってびっくりする。 ・友だちのいたずらにどっきりさせられた。 ・大きな音にはっとした。ふいの声にはっとする。 ・とつぜん、名前をよばれてきょとんとした。 ・よの中をあつと言わせるはつ明をする。
● 考える 考える様子さまざま	<ul style="list-style-type: none"> ・考える ・思う ・考えこむ ・頭をひねる ・頭をしぼる ・考え直す 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでどうしたらよいか考える。考え合う。 ・山田君の意見は正しいと思う。よいことだと思う。 ・むずかしい問題にとり組んで考えこむ。 ・むずかしい問題に頭をひねる。 ・よい方ほうはないかと頭をしぼる。 ・もういちど考え直す。よい方ほうはないかと考え直す。
● 簡単 簡単ないろいろな言い方	<ul style="list-style-type: none"> ・かんたん ・手がる ・やさしい ・なんでもない ・なんなく ・らくらく ・わけなく ・すらすら ・あっさり ・さらり ・お安いご用 ・おちゃの子さいさい 	<ul style="list-style-type: none"> ・かんたんにできるおもちゃを作って、弟にあげる。 ・手がるなやり方を考える。手がるな食事ですます。 ・やさしいことばでせつ明する。やさしいテストだ。 ・これをやるのはなんでもない。なんでもない問題。 ・なんなく山のちょう上についた。 ・大きなもつをらくらくもち上げる。 ・こんな問題わけなくできるよ。わけなく勝ちすすむ。 ・長い読みものをすらすら読んでしまう。 ・もっとしかられると思ったが、あっさりゆるされた。 ・2人分の仕事を、1人でさらりとしあげた。 ・にもつをとどけるなど、おやすいご用だ。 ・作文を書くのは大すきで、おちゃの子さいさいだ。
● がっかり	<ul style="list-style-type: none"> ・がっかり ・残念 ・くよくよ ・しょんぼり ・くやしがる 	<ul style="list-style-type: none"> ・花火大会が、雨で中止になりがっかりした。 ・ざんねんながら、雨で遠足はとり止めになった。 ・しっばいしたからってくよくよするなよ。 ・試合で1年生にまけてしょんぼりする。 ・弟とやったゲームにまけてくやしがる。

● 作る 作り直す	・ 調べる ・ 作り直す ・ 修理 ・ 選ぶ ・ 比べる ・ 距離	・ 自どう車のしくみを、じてんを見てしらべる。 ・ 間ちがえていたので、はじめから作り直す。 ・ 自分で自てん車のしゅう理をしてみた。 ・ もけいひこうきを作るため、ざいりょうをえらぶ。 ・ でき上がりをくらべる。べんりさをくらべる。 ・ 紙ひこうきのとんだきよりはかってみる。
--------------	--	--

●下巻「はっけん」 ● 自分 はっけん

1 はっけん 自分の よい ところ

(すぐれていること、いろいろな人を表すことばなどを中心に)

項目	ことば	用例
●すぐれている	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐれる ・上回る ・親切 ・ずばぬける ・最高 ・上出来 ・きっての ・天下一品 ・とびきり ・ベスト ・トップ ・一番 ・日本一 ・世界一 ・びかー 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちよりすぐれることがあるだろうか考える。 ・ピアノのうで前は、妹よりも上回る。 ・親切な友だち。だれにでも親切に教える。 ・かけっこでは、クラスの中でずばぬけた力がある。 ・絵のじょうずさは、クラスでさい高だとほめられた。 ・はじめての試合にしては、上できだとほめられた。 ・クラスきってのスポーツマンだと言われている。 ・もけいひこうき作りでは、天下一びんだという。 ・計算のはやさでは、とびきりの力をもっている。 ・今月のテストでは、ベストのせいせきを上げた。 ・リレーきょう走で、トップをきってゴールした。 ・学力テストでは、学年で一番のせいせきだった。 ・ピアノの大会で、日本一のしょうをとることができた。 ・世界一をめざして、れんしゅうをつづけている。 ・何かひとつでも、びかーのものをみにつけたい。
●いろいろな人	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい ・かわいらしい ・親しみやすい ・ちょこちょこした ・あまったれ ・わがまま ・わんぱく ・おてんば ・泣き虫 ・力持ち ・弱々しい ・たくましい ・こわがり ・背が高い ・背が低い ・やせた ・太った ・ふくよか ・おっとり 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい人はだれからもすかれる。明るいせいいかく。 ・妹はいつでもかわいらしい。かわいらしいぼうや。 ・親しみやすい人には、友だちがたくさんできる。 ・ちょこちょこした子だから、車にちゅういさせたい。 ・あまったれな弟は、いつも母にへばりついている。 ・自分では気がつかないが、私はわがままらしい。 ・わんぱくな友だちはめいわくだ。わんぱくざかり。 ・小さいころからおてんばだった。 ・なき虫な妹はすぐになく。なき虫はきらわれる。 ・兄は力もちで、にもつはこびを引きうける。 ・よわよわしい声でへんじをする。 ・たくましい体で、たくましく生きて行く。 ・こわがりの弟は、くらがりを一人で歩けない。 ・せが高い姉は、ざせきがいつも後ろの方だ。 ・おばあさんは、こしがまがってせがひくい。 ・病気ですっかりやせた。小がらでやせた人。 ・食べすぎで太った。太った人がすもうとりになる。 ・赤ちゃんのふくよかなほお。体がふくよかである。 ・おっとりしているから、友だちに大へんすかれる。

・しとやか

・ゆかしい

・おくゆかしい

・どう作がしとやかで品のある人。しとやかな女性。

・ゆかしい人がらの方とふれ合うと、心が休まる。

・お茶やお花を教える祖母は、おくゆかしい人だ。

2 自分のことをもっと知りたいな

(生まれること・育つこと・健康なことなどに関わることばを中心に)

項目	ことば	用例
● 生まれる	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれる ・産声をあげる ・誕生 ・誕生日 ・早生まれ ・遅生まれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・妹が生まれる。いい考えが生まれた。 ・オギャーと元気なうぶ声をあげる。 ・弟のたん生を、今か今かとまっている家ぞく。 ・わたしのたん生日をおいわいしてくれた。 ・一月一日から四月一日までの生まれは早生まれ。 ・四月二日から十二月三十一日の生まれはおそ生まれ。
● 育つ 育ち方いろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・育つ ・大きくなる ・成長 ・成育 ・発育 ・ちちばなれ ・ませる ・育ちざかり ・大人びる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子犬がそだつ。ツバメのすで、ひながそだっている。 ・そだちざかりで子どもは、どんどん大きくなる。 ・赤ちゃんのせい長を楽しみに見まもる。 ・じゅんちょうなせいいくであん心だ。ますますのせいいくが楽しみだ。 ・子どものはついくのようすを記ろくする。はついくが早い子。 ・うちの赤ちゃんは、ちちばなれが早いと言われる。 ・どんどんませる弟は、なまいきで手におえない。 ・そだちざかりの子どものせい長はたのもしい。 ・年れいのわりには、おとなびた口をきく。
● 健康 体のようす	<ul style="list-style-type: none"> ・元気 ・健康 ・丈夫 ・頑丈 ・無事 ・達者 ・健やか ・強い ・タフ ・ぴちぴち ・ぴんぴん ・がっちり ・安全 ・不健康 ・病弱 ・弱い ・ひ弱い ・自愛 ・健勝 ・健康診断 ・身体検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な子どもが、元気いっぱい外であそび回る。 ・けんこうに気をつけて、けんこうな体をつくる。 ・なんでも食べて、じょうぶな体をつくる。 ・せが高くがんじょうな体かくのお兄さん。 ・子どもがぶじにそだっている。ぶじでなによりだ。 ・おじいさんは、百さい近くなのにたっしゃでいる。 ・子どもがすこやかにそだつ。すこやかにくらす。 ・うでっぶしの強い父。強い体にきたえる。 ・うたれつづけてもダウンしないタフなボクサー。 ・ぴちぴち元気いっぱいな子どもたち。 ・病気が直って、ぴんぴんしてきた。 ・体ががっちりしていて、けんこうそうなお父さん。 ・年よりのあんぜんを考えて、家の中をリフォームする。 ・ふけんこうな顔色。ふけんこうな食生活。ふけんこうな体。 ・ぼくは小さいころ病弱だったらしい。病弱な体。 ・弱い体をスポーツできたえる。気の弱い子ども。 ・ひ弱い体をうんどうできたえる。ひ弱な体つき。 ・くれぐれも、ご自あいください。 ・ますますごけんしょうでご活やくください。 ・毎年、学校でけんこうしんだんがおこなわれる。 ・しん体けんさをうけて、サッカークラブに入る。

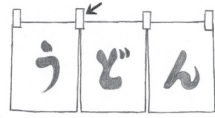
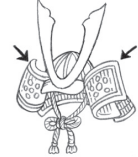

3 ようこそ、自分はっけんはっぴょう会

(自分の体発見・性格の気付き・得意や不得意などにまつわることばを中心に)

項目	ことば	用例
●体	<ul style="list-style-type: none"> ・身体 ・足こし ・肢体 ・頭 ・つむじ ・おつむ ・ひたい ・おでこ ・ほお ・みけん ・こめかみ ・まなこ ・利き手 ・右利き ・左利き ・二のうで ・すね ・手のひら ・ひじ ・かた 	<ul style="list-style-type: none"> ・しん体を休める。毎朝のうんどうで、しん体をきたえる。 ・すもうに強くなろうと、足こしをきたえる。 ・しなやかなしたい。すらりとしたしたいの女性。 ・頭をしぼる。頭をつかう。頭ごなしにどなられる。 ・左まわりのつむじはめずらしい。つむじまがりな人。 ・おつむがいたい。おつむがかたい人だなあ。 ・ひたいにあせしてはたらく。ひたいをあつめてそうだん。 ・おでこをたたき合う。おでこを合わせて力くらべ。 ・まっ赤なほおの赤ちゃん。ほおをふくらませる。 ・みけんに刀きずのある男をおって、あだうちする。 ・こめかみに青すじを立てておこる。 ・ねぼけまなこの弟。どんぐりまなこがかわいいね。 ・きき足は左だが、きき手は右だ。きき手は左手だ。 ・右ききだから左手では字を書けない。 ・左ききを生かして、うまいバッターになるぞ。 ・うでをまげて、二のうでのきん肉をもりあげる。 ・サッカーですねをけられた。すねをはらいたおす。 ・手のひらを合わせ、おまいりする。手のひらをたたく。 ・テーブルにひじをついて、食事をするな。ひじかけ。 ・かたをいからせて歩く。かたをとんとんたたく。

もの知り事典

体の部分の名のつくことば

				かぶとの耳	はり 針の耳
耳	パンの耳 	ほん 本の耳 	のれんの耳 		
手	ろうどうりよく 労働力の手 (人手) 	もし 文字の手 (手習い) 	火の手 	なべの手 (片手なべ・両手なべ) 	ぶたい 舞台の手 (下手 かみて 上手) 
足	いすの足 	かんざしの足 	あまあし 雨足 	いどう 移動の足 	かね お金の足 ←お足 

4 ありがとうを とどけよう

(嬉しい・楽しい・感謝・励まし・協力・贈るなどに関わることばを中心に)

項目	ことば	用例
● 嬉しい・楽しい	<ul style="list-style-type: none"> ・嬉しい ・喜ぶ ・喜んで ・うかれる ・楽しい ・楽しく ・おもしろい ・ゆかい ・夢中 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生にほめられて<u>うれしい</u>。さそわれて<u>うれしい</u>。 ・手をたたいて<u>よろこぶ</u>。試合に勝って<u>よろこぶ</u>。 ・さそわれて<u>よろこんで</u>出かける。 ・なんでもうまくいって、<u>うかれる</u>気分だ。 ・家で<u>楽しい</u>ピクニックに行く。 ・みんなと<u>楽しく</u>あそぶ。音楽を<u>楽しく</u>聞く。 ・<u>おもしろい</u>物語を読む。このゲームは<u>おもしろい</u>。 ・ぼくには<u>ゆかい</u>ななかがいる。ドライブは<u>ゆかい</u>だ。 ・ゲームに<u>む中</u>になって、母にしかられる。
● ありがとう	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう ・おかげで ・どうも ・いつも ・お礼 ・感謝 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも本をかしてくれて<u>ありがとう</u>。 ・先生のお<u>かげ</u>で、10メートルもおよげた。 ・きのうは、<u>どうも</u>。<u>どうも</u>おせわになりました。 ・<u>いつも</u>ご親切に。<u>いつも</u>手だすけをありがとう。 ・おれいの手紙を書く。世話になった人におれいを言う。 ・<u>かんしゃ</u>のことばをおくる。上級生に<u>かんしゃ</u>する。
● 応援	<ul style="list-style-type: none"> ・応援 ・力づける ・励ます ・元気づける ・声援 	<ul style="list-style-type: none"> ・わがサッカーチームのおう<u>えん</u>にかけつける。 ・はたをふってチームを<u>力づける</u>。友を<u>力づける</u>。 ・先生がせん手を<u>はげます</u>。まけた兄を<u>はげます</u>父。 ・おちこんでいる友だちをみんなで<u>元気づける</u>。 ・みかたのチームを<u>声えん</u>する。<u>声えん</u>をおくる。
● 協力	<ul style="list-style-type: none"> ・力を合わせる ・まとまる ・結びつく ・組む ・足なみをそろえる ・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会にむけて、クラスみんなの<u>力</u>を合わせる。 ・多くの意見がうまく<u>まとまる</u>。そうだんが<u>まとまる</u>。 ・ふたつの町が<u>むすび</u>ついて、一つの町が生まれる。 ・友だちとチームを<u>組む</u>。れつを<u>組んで</u>前へすすむ。 ・仕事の足なみをそろえる。<u>足なみをそろえて</u>行しん。 ・みんなの<u>きょう力</u>でそうじをする。
● 贈る	<ul style="list-style-type: none"> ・贈る ・分ける ・さし上げる ・はなむけ ・贈り物 ・プレゼント ・届ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちに花たばを<u>おくる</u>。妹にケーキを<u>おくる</u>。 ・ミカンをみんなに<u>分ける</u>。ケーキを<u>分けて</u>食べる。 ・おれいの手紙を<u>さし上げる</u>。作品を<u>さし上げる</u>。 ・<u>はなむけ</u>のことばをのべる。<u>はなむけ</u>のおくりもの。 ・クリスマスのお<u>くりもの</u>。おいわいのお<u>くりもの</u>。 ・たん生日の<u>プレゼント</u>をいただく。 ・かんしゃの<u>気もち</u>を<u>とどける</u>。しなものを<u>おくり</u>と<u>どける</u>。

5 みらいに むかって はばたこう

(未来・夢に関わることば、はばたく・やりとげるなどにまつわることばを中心に)

項目	ことば	用例
●これから先	<ul style="list-style-type: none"> ・これから ・この先 ・今後 ・先のこと ・将来 ・未来 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの日本を考える。これからうかがいます。 ・この先どうなるんだろう。この先もがんばってね。 ・今後の計画を立てる。今後は気をつけてください。 ・10年先のことを考える。先のことはわからない。 ・しょう来は科学者になりたい。しょう来のことを話し合う。 ・兄はみ来の<u>うちゅう飛行士</u>をゆめみている。
●夢	<ul style="list-style-type: none"> ・あこがれ ・目あて ・目標 ・目ざす ・期待する ・夢 ・夢をえがく ・夢に向かう ・夢をおう ・夢をかける ・夢を見る ・夢が広がる ・思いえがく 	<ul style="list-style-type: none"> ・大リーグのせん手にあこがれる。あこがれの学校。 ・この一年間の目あてを立てて学習する。 ・目ひょうを立ててべん強する。今年の目ひょう。 ・ぜん校うんどう会で<u>ゆうしょう</u>をめざす。 ・学力のこう上をきたいする。このチャンスにきたいする。 ・大きなゆめをいだく。ゆめをもってけいこにはげむ。 ・画家になるゆめをえがいて、フランスにたび立つ。 ・ピアニストになるゆめにむかう。 ・スポーツせん手になるゆめをおう。 ・ゆめをかけるための時間は、まだじゅう分にある。 ・うちゅう飛行士になったゆめを見る。 ・パイロットになるゆめが広がる。 ・おとなになった自分を思いえがく。
●はばたく	<ul style="list-style-type: none"> ・はばたく ・出発する ・スタートする ・向かって行く ・どきどき ・わくわく ・ときめく ・心はずませる ・心おどらせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・いよいよ兄は、中学生としてはばたく。 ・朝早く、家ぞくりょ行に出ばつする。出ばつする用意をする。 ・今月から、新しいクラブ活どうがスタートする。 ・遠足の目てき地にむかって行く。 ・よろこびやきたいで、むねがどきどきする。 ・むねをわくわくさせて、グループはっぴょうする。 ・よいことつづきで、むねがときめく。 ・明日は、父とつりに行くんだと心はずませる。 ・楽しいことをきたいして、わくわくと心おどらせる。
●やりぬく	<ul style="list-style-type: none"> ・とげる ・やりとげる ・なしとげる ・やりぬく ・やりこなす ・やり通す ・つらぬく 	<ul style="list-style-type: none"> ・のぞみをとげる。大会で<u>ゆうしょう</u>をとげる。 ・力を合わせて、むずかしい仕事をやりとげる。 ・大へんな仕事をなしとげるため、力をつくした。 ・つらいけいこをやりぬく。とことんやりぬく。 ・一人でぜんぶやりこなす。かんたんにやりこなす。 ・あきらめずにさい後までやり通す。 ・心にきめたことをつらぬく。考えをつらぬく。

生活科
ことば辞典

